

津市久居消防署南分署解体工事

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A-1	解体工事特記仕様書（1）	E-1	電灯・動力設備図	M-1	衛生設備 配置図
A-2	解体工事特記仕様書（2）	E-2	地下タンク設備撤去図	M-2	衛生設備 1, 2階平面図
A-3	現況配置図・案内図・敷地求積図			M-3	空調設備 配置図
A-4	建物概要書・仕上表			M-4	空調換気設備 1, 2階平面図
A-5	既設建物各階平面図			M-5	空調設備 1, 2階平面図
A-6	立面図				
A-7	断面図				
A-8	既設各所詳細図（1）				
A-9	既設各所詳細図（2）				
A-10	既設各所詳細図（3）				
A-11	天井伏図				
A-12	建具配置平面図				
A-13	建具リスト図				
A-14	家具（雑）詳細図				
A-15	基礎伏図・基礎詳細図				
A-16	各階梁伏図				
A-17	柱・梁リスト図				
A-18	軸組図（1）				
A-19	軸組図（2）				
A-20	外構解体図				
A-21	外構詳細図				
A-22	解体後外構図				
A-23	仮設計画図				

	宮本総合建築事務所 1級建築士 第167117号 宮本徳良	工事番号	工事名	津市久居消防署南分署解体工事	年月日			承認	図面番号
		整理番号	図面名			検図	設計		
			図面リスト	縮尺(A2 原図) NS					A 0

解体工事特記仕様書

I. 工事名

津市久居消防署南分署解体工事

II. 工事概要

1 工事場所

津市 雲出本郷町 地内

2 工事内容

棟名称

津市久居消防署南分署

構造

鉄筋コンクリート造 2 階建

建築面積

3 5 7 m²

延べ面積

4 7 5 m²

工事項目

建物等の解体 一式

III. 解体工事仕様

1 共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、建築物解体工事共通仕様書（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修、最新版）による。

2 特記仕様

1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

2) 特記事項は、○の付いたものを適用する。

3) 項目欄に記載の（ ）内表示番号は解共仕の該当項目等を示す。

章	項目	特記事項																	
① 一般 共通 事項	① 適用基準	本特記事項に個別に記載の適用基準に加え、以下の基準等を適用する。 ○国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書」（最新版） ○国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書」（最新版） ○国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築物解体工事共通仕様書・同解説」（最新版） ○国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築工事標準詳細図」（最新版） ○建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律 ○その他関係法令																	
	② 発生材の処理等 (1.3.10) (4.4.1) (5.4.1)	・ 本工事は、特定建設資材を用いた建築物等に係る解体工事等であって、その規模が、建設リサイクル法施行令で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。 工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難い場合は、監督員と協議するものとする。 分別解体等の方法 <table><tr><th>工程</th><th>作業の有無</th><th>分別解体等の方法</th></tr><tr><td>建築設備・内装材等</td><td>○ 有 ・ 無</td><td>・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用</td></tr><tr><td>屋根ふき材</td><td>・ 有 ・ 無</td><td>・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用</td></tr><tr><td>外装材・上部構造部分</td><td>○ 有 ・ 無</td><td>・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用</td></tr><tr><td>基礎・基礎ぐい</td><td>○ 有 ・ 無</td><td>・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用</td></tr><tr><td>その他 (外構)</td><td>○ 有 ・ 無</td><td>・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用</td></tr></table> 引き渡しを要するもの ○ 無 ・ 金属類 ・ PCB含有物 ・ () 特別管理産業廃棄物 ○ 有(加` スタック) 処理方法 (図示) 木材の縮減 ・ 実施する (最も近い再資源化施設までの距離が50Kmを超える場合に限る) 再資源化し現場で利用する建設廃棄物 ・ () 再資源化を図るもの ○ コンクリート塊 ○ アスファルトコンクリート塊 ○ 建設発生木材 ・ 金属類 ・ 小形二次電池 ・ 蛍光ランプ及びH I D ランプ ・ 硬質ポリ塩化ビニル管及び継手 ・ ガラス 引き渡しを要するもの、再資源化を図るものについては調書を作成し、監督員へ提出すること。	工程	作業の有無	分別解体等の方法	建築設備・内装材等	○ 有 ・ 無	・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用	屋根ふき材	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用	外装材・上部構造部分	○ 有 ・ 無	・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用	基礎・基礎ぐい	○ 有 ・ 無	・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用	その他 (外構)	○ 有 ・ 無
工程	作業の有無	分別解体等の方法																	
建築設備・内装材等	○ 有 ・ 無	・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用																	
屋根ふき材	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用																	
外装材・上部構造部分	○ 有 ・ 無	・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用																	
基礎・基礎ぐい	○ 有 ・ 無	・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用																	
その他 (外構)	○ 有 ・ 無	・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用																	

③ 建設副産物情報交換システムの利用	引き渡しを要するもの以外のものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資源の再資源化等に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令によるほか、「建設副産物適正処理推進要綱」に従い適切に処理し、監督員にマニフェストA、B2、D票を提示すること。 受注者は受注時において延べ面積が80㎡以上の解体工事については、工事着手前及び工事完了後に「再生資源利用計画書（実施書）」、「再生資源利用促進計画書（実施書）」を監督員に提出すること。 また、工事着手前にJACICが運営する「建設副産物情報交換システム」へデータを入力し、工事完了時にはシステムへ実績報告を行うこと。 本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には、完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に、別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書を添付して、当該工事の発注者に対して、支払請求を行うことができる。 なお、この期間を超えて請求することはできない。 また、産業廃棄物処理集計表（マニフェストの数量の集計）を超えて請求することはできない。															
④ 三重県産業廃棄物税																
⑤ 工事実績情報の登録 (1.1.4)	○ 適用する（請負金額が500万円以上の場合） 受注時、変更時及び完了時にあらかじめ監督職員の確認を受け、登録手続きを行い、工事カルテの受領書を、監督員に提出すること。															
6 電気保安技術者 (1.3.3)	・ 適用する															
⑦ 疑義	設計図面に明記のない場合、または、疑義が生じた場合は、監督員と協議し、その指示を受けてから施工すること。															
⑧ 施工条件 (1.3.5)	○ 監督員と協議し決定する。 <table><tr><td>施工可能日</td><td>・ 指定なし</td><td>・ 一部に土、日曜日、祝祭日施工あり</td></tr><tr><td>施工可能時間帯</td><td>・ 指定なし</td><td>・ 時 ～ 時</td></tr><tr><td>部位別の施工順序</td><td>・ 指定なし</td><td>・ ()</td></tr><tr><td>工事車両の駐車場</td><td>・ 指定なし</td><td>・ 図示（図面番号：)</td></tr><tr><td>資機材置場</td><td>・ 指定なし</td><td>・ 図示（図面番号：)</td></tr></table>	施工可能日	・ 指定なし	・ 一部に土、日曜日、祝祭日施工あり	施工可能時間帯	・ 指定なし	・ 時 ～ 時	部位別の施工順序	・ 指定なし	・ ()	工事車両の駐車場	・ 指定なし	・ 図示（図面番号：)	資機材置場	・ 指定なし	・ 図示（図面番号：)
施工可能日	・ 指定なし	・ 一部に土、日曜日、祝祭日施工あり														
施工可能時間帯	・ 指定なし	・ 時 ～ 時														
部位別の施工順序	・ 指定なし	・ ()														
工事車両の駐車場	・ 指定なし	・ 図示（図面番号：)														
資機材置場	・ 指定なし	・ 図示（図面番号：)														
⑨ 官公庁手続	工事に必要な手続きは受注者が速やかに処理し、この手続きに関する諸費用は受注者負担とする。															
⑩ 危険災害の防止	1) 工事期間中、現場内入場者、近隣居住者および周辺建物に危害を与えめよう注意すること。万一、紛争が生じた場合は、受注者が誠意をもって解決すること。 なお、近隣等との折衝は、あらかじめその概要を監督員に報告し、その経過については記録し、遅滞なく監督員に報告する。 2) 重機搬出入時、発生材搬出時、仮設材搬出入時には、交通整理のための誘導員を配置すること。															
⑪ 工事進入路	重機搬出入、産業廃棄物搬出経路については事前に施工計画書を提出し、監督員の承認を得ること。また、工事現場から搬出入する土砂により工事用進入路を汚した場合は、速やかに清掃を行うこと。															
⑫ 工事写真	1) 着工前：解体建物・敷地周辺・付近道路・工作物の撮影を行うこと。 2) 工事中：随時撮影を行うほか、監督員の指示による。															
⑬ 完成写真	写真は着工前・施工中・完成を同一場所から黒板なしで撮影すること。															
⑭ 事故報告	工事施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により、工事事故報告書を監督員が指示する期日までに、提出すること。 また、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。															
⑮ 提出書類	施工計画書、仮設計画書、工事写真、工事日報、その他市監督員の指示するものとする。 施工計画書には、工事現場から産業廃棄物処理場までの運搬経路、産業廃棄物処理契約書の写し、産業廃棄物収集運搬業者及び産業廃棄物処理業者許可書の写し、その他市監督員の指示するものを添付すること。															
⑯ 産業廃棄物	施工計画書には、工事現場から産業廃棄物処理場までの運搬経路、産業廃棄物処理契約書の写し、産業廃棄物収集運搬業者及び産業廃棄物処理業者許可書の写し、その他監督員の指示するものを添付すること。															

⑰ 地下埋設物の確認	地下埋設物の確認を監督員に受けること。確認時期は、監督員と協議し決定する。
⑱ その他	・ 作業着手までの期間に調査及び、施工計画書等を作成し、市監督員の承諾を得ること。 ・ 作業着手までの調査は、事前に施設管理者、市監督員の承諾を得ること。 ・ 敷地内、周辺での作業・通行等は周辺住民の安全確保に十分配慮すること。 ・ 安全対策のため、作業終了時及び休工時は仮囲い出入口を施錠すること。 ・ 作業着手前には、現況状況把握の為に破損箇所等があれば、市監督員の立合いのもと写真等に記録しておくこと。 また、工事過程において、既存施設に破損等を与えた場合は、受注者の負担において速やかに復旧すると共に市監督員に報告すること。 ・ 設計書に明記がなくとも、機能上及び構造上当然必要と認められるもの、並びに、取合いのはつり補修復旧は本工事に含む。なお、内訳書の数量は参考とし、当図面を優先する。 ・ 工事用車両及び工事関係車両は、周辺道路に駐車しないこと。 ・ 緊急且つ必要な場合において、市監督員以外（施設管理者等）が直接受注者に指示することがある。 その場合は当該指示に従うこと。 ・ 廃材、残土等の搬出にあたっては、周辺道路を汚さないよう当然に無理な積込みは行わないこと。 工事車両等の出庫時は、タイヤ清掃等を行うなど、工事敷地からの土砂の流出抑制に心掛けること。 ・ 喫煙は限られた場所のみとし、現場内は禁煙とする。 ・ 建物付属物については特記ナキ限り記載の有無に関わらず全て撤去処分とする。 ・ 植栽は全て伐採・伐根とし、業者処分とする。 ・ 備品・生活用品等については特記ナキ限り記載の有無に関わらず撤去処分とする。 ・ 埋設配管については特記ナキ限り記載の有無に関わらず撤去処分とする。 ・ 本敷地内にて、別発注の地質調査業務委託を行っているため、互いに協力し、工事の遂行に影響の無いよう努めること。

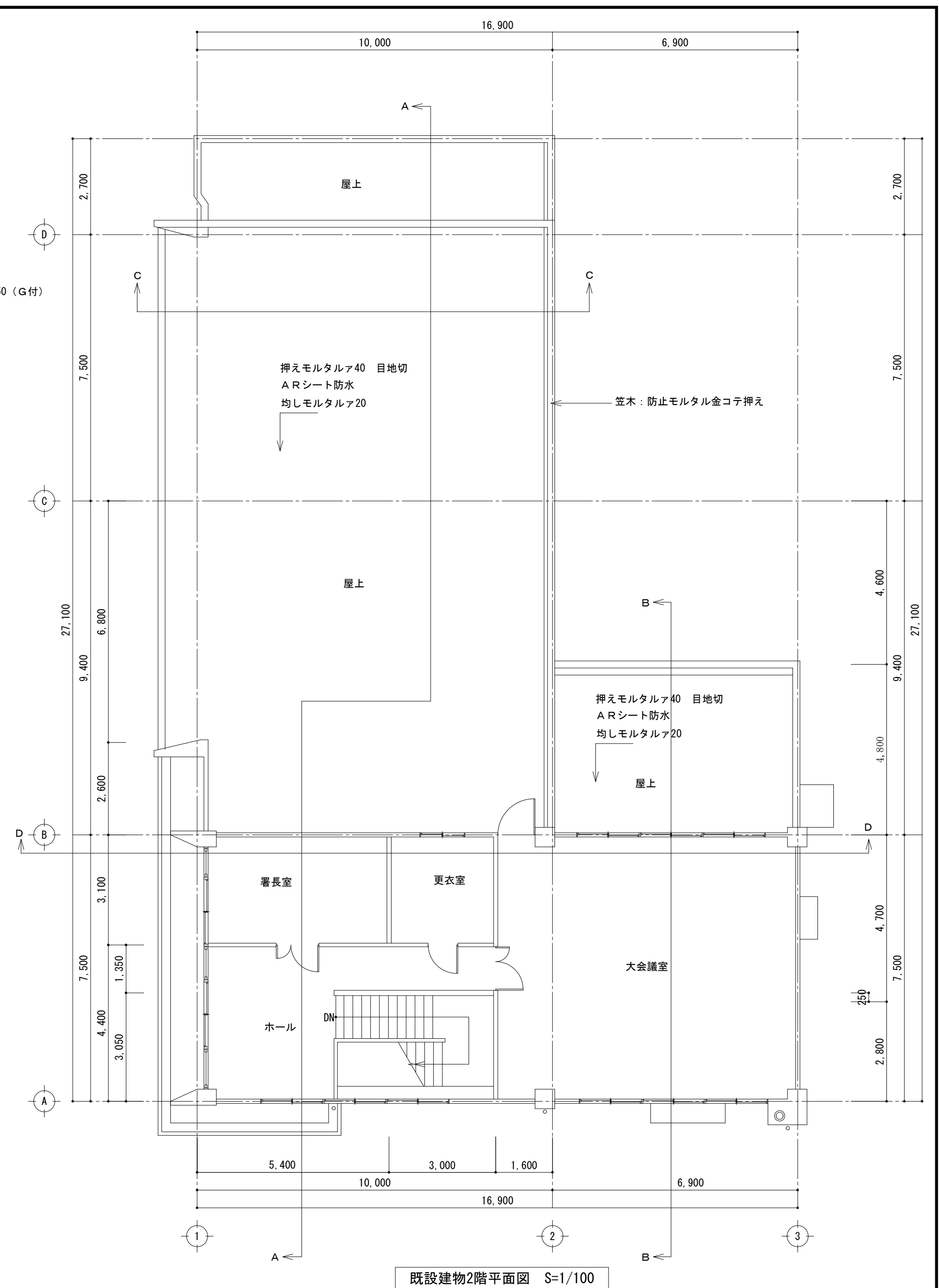
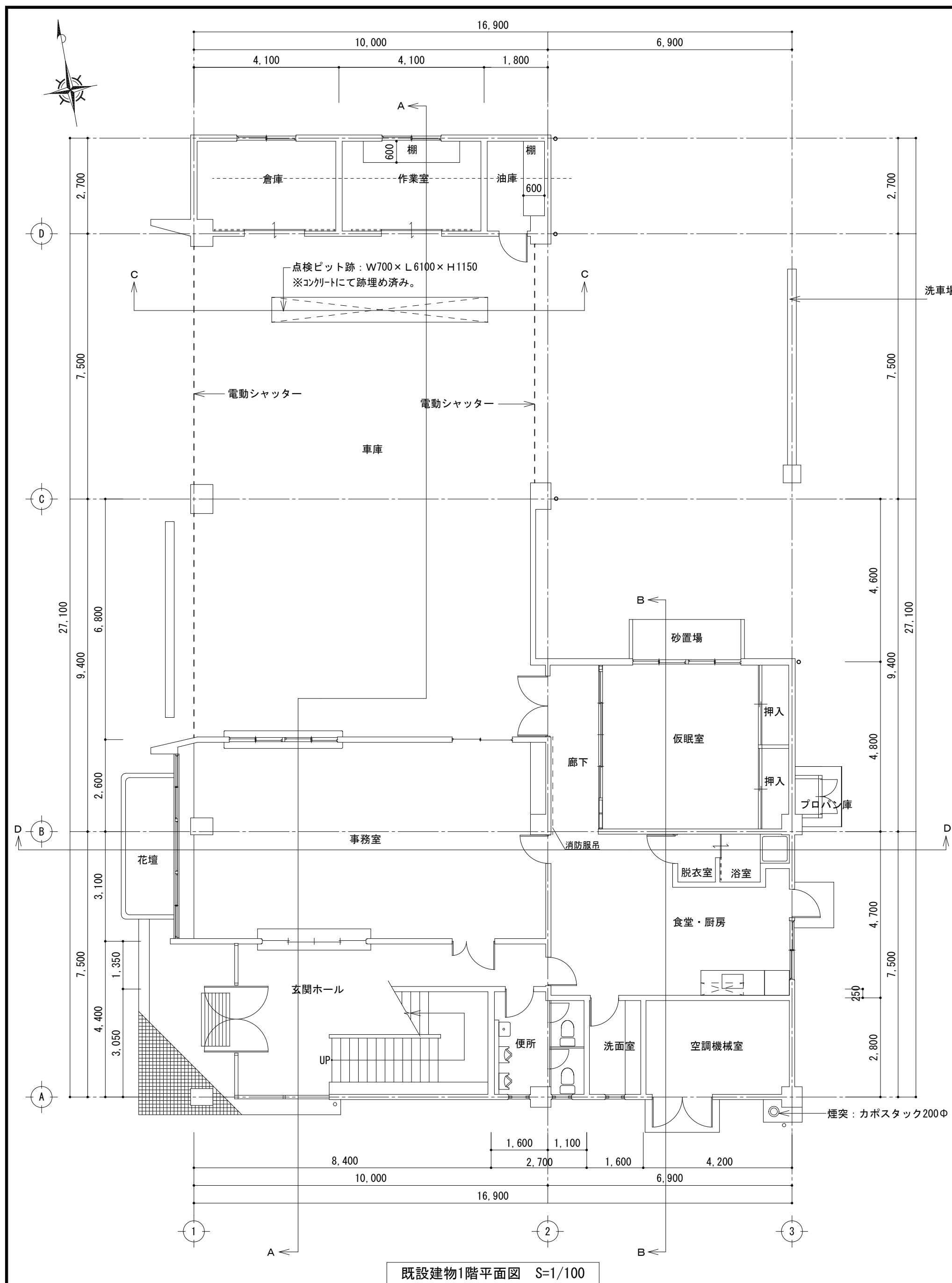
	宮本総合建築事務所	1級建築士 第167117号 宮本徳良	工事番号	工事名	津市久居消防署南分署解体工事	年月日			承認	図面番号	
			整理番号	図面名		解体工事特記仕様書（1）	縮尺(A2 原図) NS	検図			設計

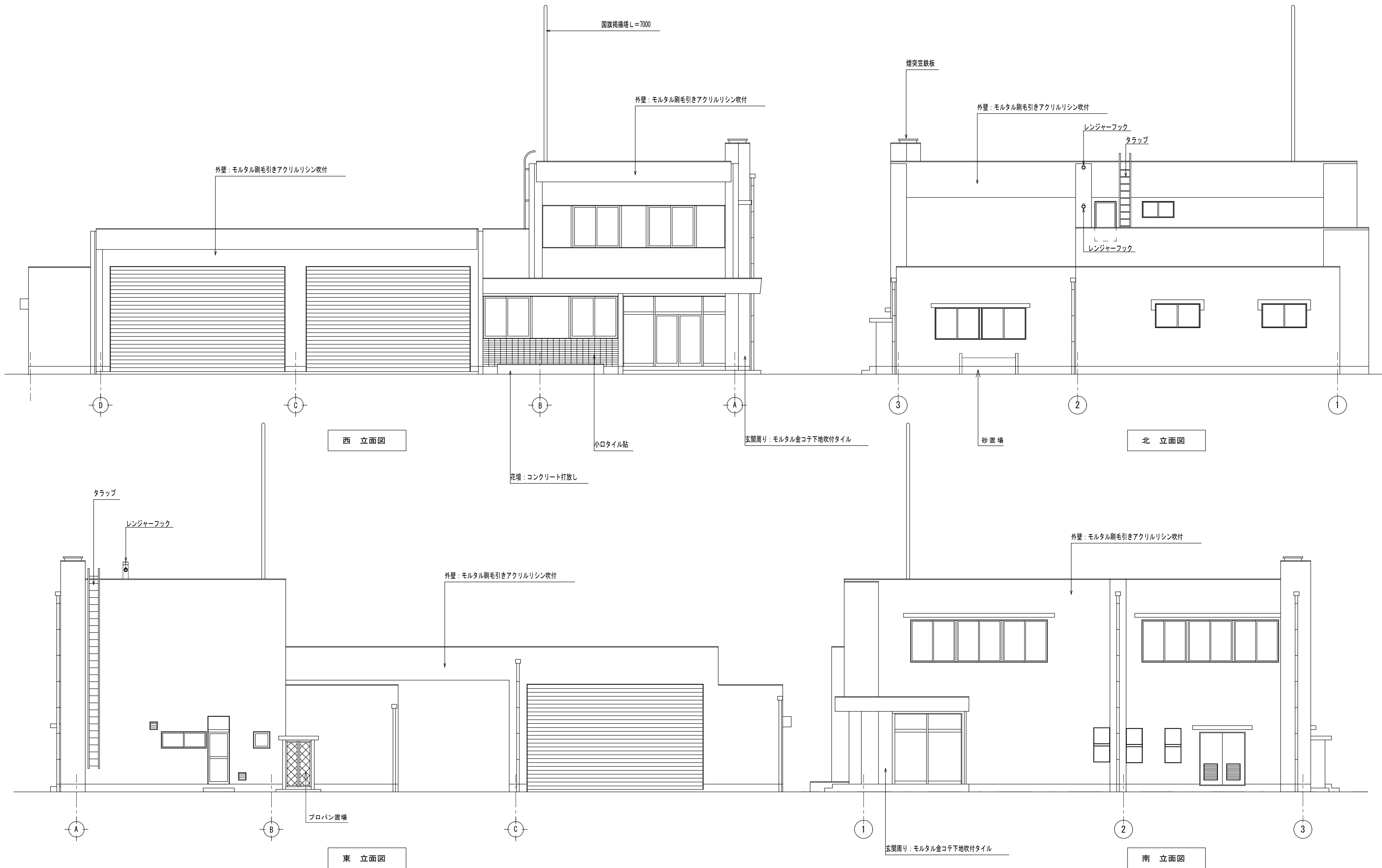
●建物概要		●外部仕上	
工事名	津市久居消防署南分署解体工事	屋根	均しモルタルア20下地・ＡＲシート防水押エモルタルア40・目地切・パラペット：防水モルタル金コテ押エ
工事場所	津市雲出本郷町 地内	玄関庇・小庇	防水モルタル金コテ押え
構造・規模	敷地面積：1993.24㎡	軒裏	玄関庇：フレキシブル版ア4ラフトン吹付・小庇：コンクリート打放シアクリル系リシン吹付
	解体：鉄筋コンクリート造2階建て・延面積475.05㎡・外構・ホース乾燥塔等	樋	鑄鉄製コーナードレンΦ100・縦樋：VP100φ
外構・その他	植込み：立上り・コンクリート打ち放し（植樹撤去処分）	外壁	モルタル刷毛引きアクリルリシン吹付・一部西面：小口タイル貼
国旗掲揚等	鉄製パイプ・120φ L＝7000	幅木	モルタル金コテ仕上げ、H＝300
レンチャーフック	19φ加工 OP	鋼製建具	オーダーメイドアルミサッシ、ドア 車庫：電動シャッター
屋外掲示板	ステンレス製W1800×H2000（独立基礎）	玄関ポーチ	磁器質床タイル105角
ホース乾燥台	鉄骨製：12700×1700×1700（独立基礎）		
洗車場	土間コンクリート打ち（排水溝W250×L＝6000）・グレーチング		
油水分離槽	地下埋設既製W1700×800×1000（3槽式）		
消防車庫	コンクリート製点検ピットW6100×700×1150	カポスタック撤去時の注意事項	
プロパン庫	CB製（本体建物付属W800×1100×1800）フェンス戸付	1・煙突内部のカポスタックは、建物の解体に先立ち、高圧ウォータージェット工法等により撤去をを行うこと。	
砂置場	CB製隔て（内部・砂 撤去）	2・カポスタック撤去の際は、飛散防止隔離養生を行うと共に、クリーンルーム、集塵機等を設置すること。	
煙突	RC製550 □ 煙突内部：（付属300φ×厚50）カポスタック（アスベスト含有）	3・撤去前、撤去中、撤去後に環境測定を行い報告書を提出すること。測点位置は監督員と協議すること。	
	煙突笠蓋：スチールプレート 9×550×550	4・撤去後のアスベストは特別産業廃棄物として積込、運搬、処分を行うこと。	

●内部仕上げ表									
階	室名	床	巾木	H	腰	壁	天井	H	備考（撤去）
1階	ポーチ	105角磁器質タイル貼り	テラゾー	90	モルタル金コテ下地吹付タイル	モルタル金コテ下地吹付タイル	F.バア4ラフトン吹付	2800	靴拭マット（アルミ製）
	玄関ホール	同上	テラゾー	90	モルタル金コテ下地ラフトン吹付 モルタル金コテ下地吹付タイル	モルタル金コテ下地ラフトン吹付 モルタル金コテ下地吹付タイル	P.バア9目透し貼 AVP	2700	受付カウンター
	廊下	同上	テラゾー	90	モルタル金コテ下地ラフトン吹付 モルタル金コテ下地吹付タイル	モルタル金コテ下地ラフトン吹付 モルタル金コテ下地吹付タイル	P.バア9目透し貼 AVP	2200	
	階段下物入	モルタル金コテ押エ	モルタル金コテ	90	モルタル金コテ	モルタル金コテ	モルタル金コテ	1300	
	事務室	Pタイル貼	木製OP	90	モルタル金コテ下地AVP	モルタル金コテ下地AVP	P.バア9目透し貼 AVP	2700 一部2400	棚
	便所	モルタル下地ビニル床シートア2.0貼		90	磁器質タイル、モルタルの上メラミン化粧合板ア3.0貼り	同左	化粧石膏ボードア9.5貼り	2400	T・B 大、小便器
	洗面室	モルタル下地モザイクタイル貼		90	100角磁器質タイルH＝1800	モルタル金コテ下地AVP	F.バア4ラフトン吹付	2300	洗面器（人研）
	空調機械室	モルタル金コテ仕上げ	モルタル金コテ	90	モルタル金コテ	モルタル金コテ	モルタル AVP	3650	
	食堂・厨房	モルタル下地カラークリート仕上	ソフト幅木	60	モルタル金コテ下地AVP・流し前100角磁器タイル貼り	モルタル金コテ下地AVP	P.バア9目透し貼 AVP	2600	ステンレス流し台、コンロ台
	脱衣室	モルタル下地クッションフロア貼り	木製 OP	90	モルタル金コテ下地AVP	モルタル金コテ下地AVP	P.バア9下地目透し貼、AVP	2200	換気扇
	浴室	モルタル下地玉石モザイクタイル貼		90	モルタル下地100角磁器質タイル貼	モルタル下地100角磁器質タイル貼	バスリブ貼り	2200～2300	ステンレス浴槽
	仮眠室	木下地畳敷き	タタミ寄せ	90	モルタル金コテビニルクロス貼り 一部シナベニヤア6下地ビニルクロス貼り	モルタル金コテビニルクロス貼り 一部シナベニヤア6下地ビニルクロス貼り	化粧ベニヤ貼り・一部PB下地ヒル石吹付	2400	押入（中段有）
	押入	木下地ラワン合板ア5.5貼り	寄せ	15	ラワンベニヤア4化粧貼り	ラワンベニヤア4化粧貼り	ラワンベニヤア4化粧貼り	2400	押入
	車庫	コンクリート金コテ押エ	モルタル金コテ	200	モルタル下地AVP塗装	モルタル下地AVP塗装	木毛版ア20打込みAVP吹付	4660	点検ピット
	倉庫	モルタル金コテ押エ	モルタル金コテ	90	モルタル金コテ	モルタル金コテ	木毛版ア20打込み	3060	
	作業室	モルタル金コテ押エ	モルタル金コテ	90	モルタル金コテ	モルタル金コテ	木毛版ア20打込み	3060	吊棚
	油庫	モルタル金コテ押エ	モルタル金コテ	90	モルタル金コテ	モルタル金コテ	木毛版ア20打込み	3060	棚
2階	ホール	Pタイル貼	人研・木製OP	90	モルタル金コテ下地ラフトン吹付 一部シナ合板下地目透しラフトン吹付	モルタル金コテ下地ラフトン吹付 一部シナ合板下地目透しラフトン吹付	P.バア9目透し貼 AVP	2500	
	署長室	Pタイル貼	人研・木製OP	90	モルタル金コテ下地ラフトン吹付 一部シナ合板下地目透しラフトン吹付	モルタル金コテ下地ラフトン吹付 一部シナ合板下地目透しラフトン吹付	P.バア9下地ダイロートン貼り	2450	
	更衣室	Pタイル貼	木製OP	90	モルタル金コテ下地ラフトン吹付 一部シナ合板下地目透しラフトン吹付	モルタル金コテ下地ラフトン吹付	P.バア9目透し貼 AVP	2500	
	大会議室	Pタイル貼	木製OP	90	モルタル金コテ下地ラフトン吹付	モルタル金コテ下地ラフトン吹付	P.バア9下地ダイロートン貼り	2450	
	階段	Pタイル貼	人研	90	モルタル金コテ下地ラフトン吹付	モルタル金コテ下地ラフトン吹付	P.バア9目透し貼 AVP	2500	

●凡例								
	F B	フレキシブル版	O P	オイルペイント塗	O S	オイルステイン塗	R C	鉄筋コンクリート
	P B	石膏ボード	S O P	合成樹脂調合ペイント塗	C L	クリアラッカー塗	C B	補強コンクリートブロック
	A V P	アクリルビニルペイント塗	U C	ウレタン樹脂ワニス塗	V E	塩化ビニル樹脂エナメル塗	P タイル	ビニル床タイル
	V P	ビニルペイント塗	E P	合成樹脂エマルジョンペイント塗	F E	フタル酸樹脂エナメル塗	T B	人造大理石（擬石）

アスベスト含有建材を示す		宮本総合建築事務所	工事番号	工事名 津市久居消防署南分署解体工事		年月日			承認	図面番号
			整理番号	図面名	建物概要書・仕上表	縮尺(A2 原図) NS		検図	設計	A 4





参考図

宮本総合建築事務所

1級建築士 第167117号 宮本徳良

工事番号

整理番号

工事名

図面名

津市久居消防署南分署解体工事

立面図

縮尺 (A2 原図)
1/100

年月日

検図

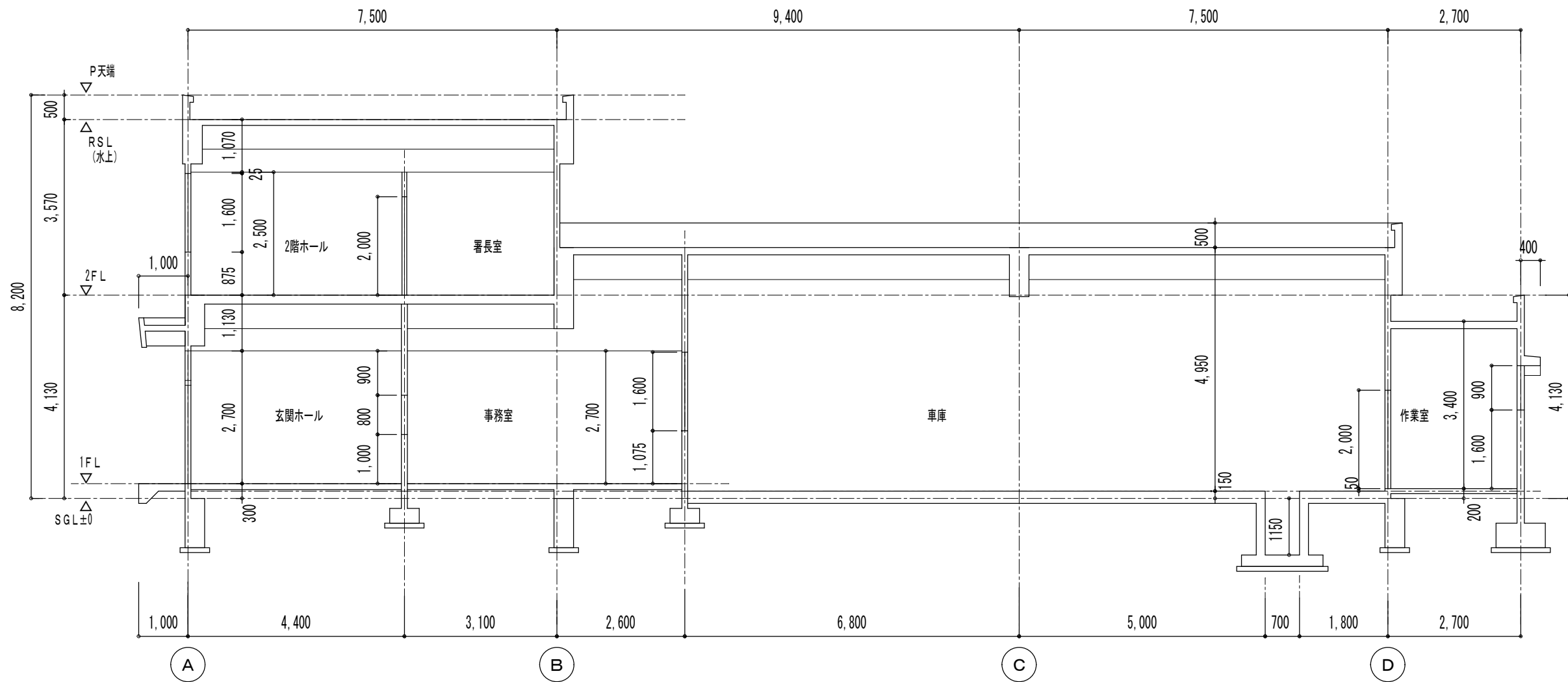
設計

承認

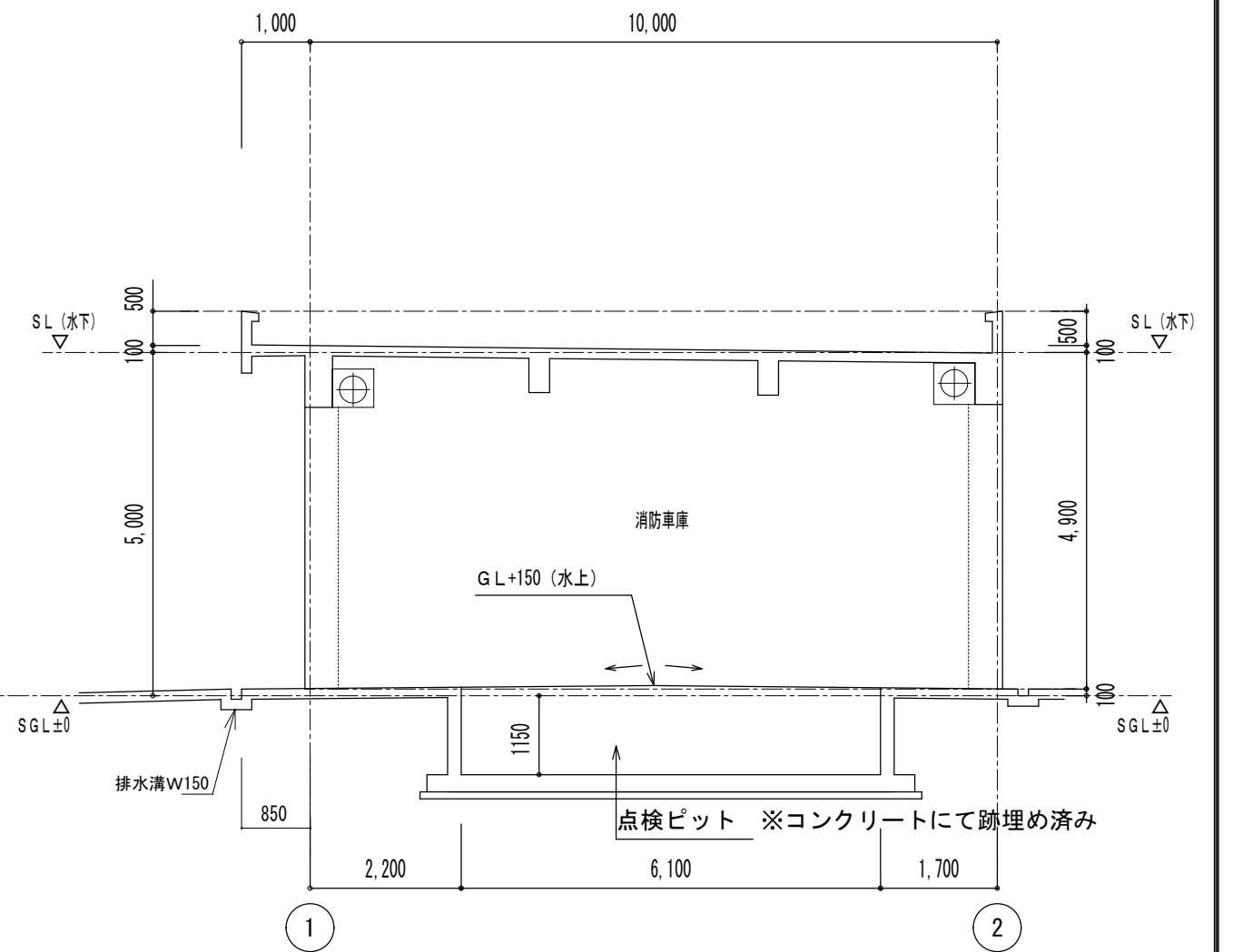
図面番号

A

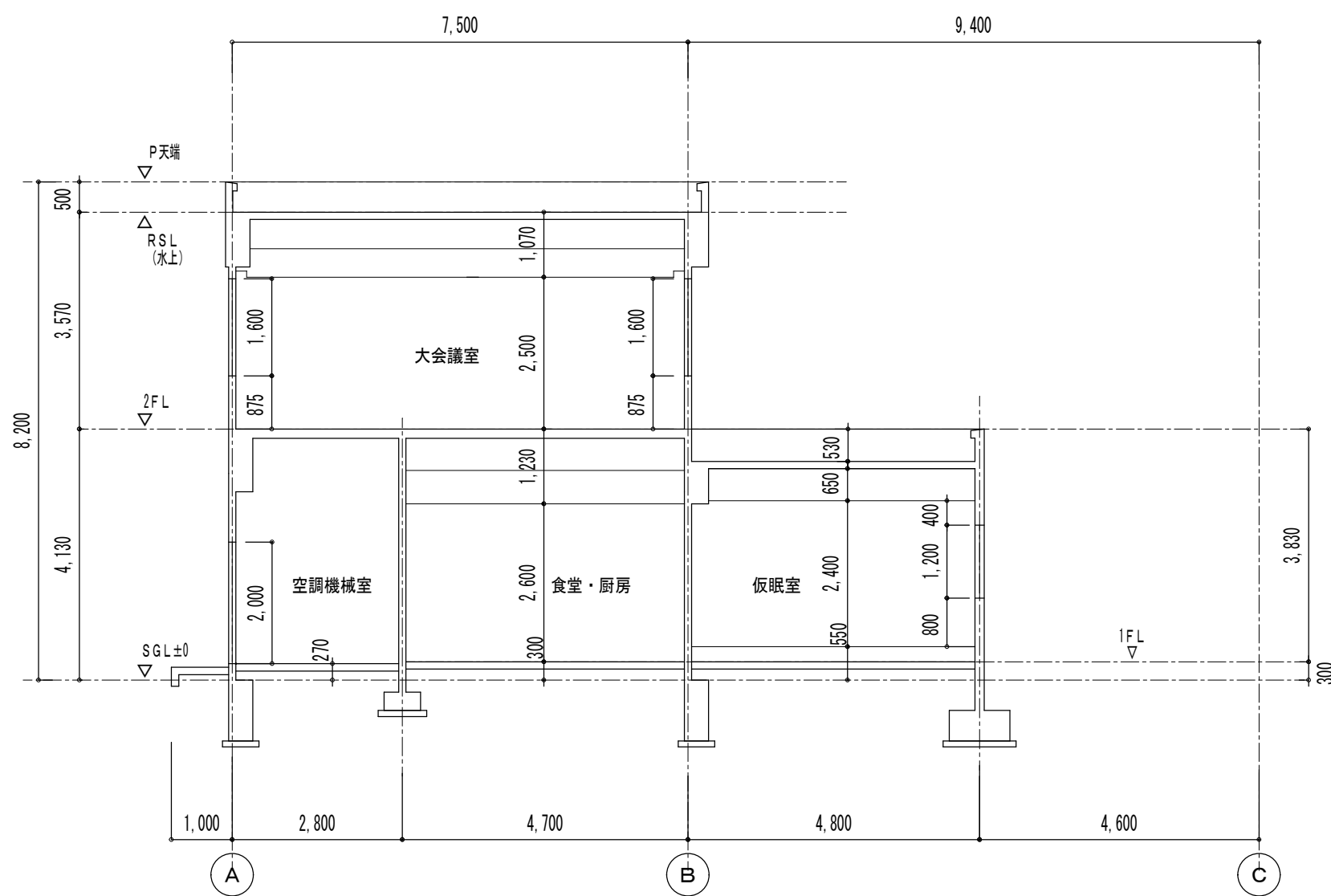
6



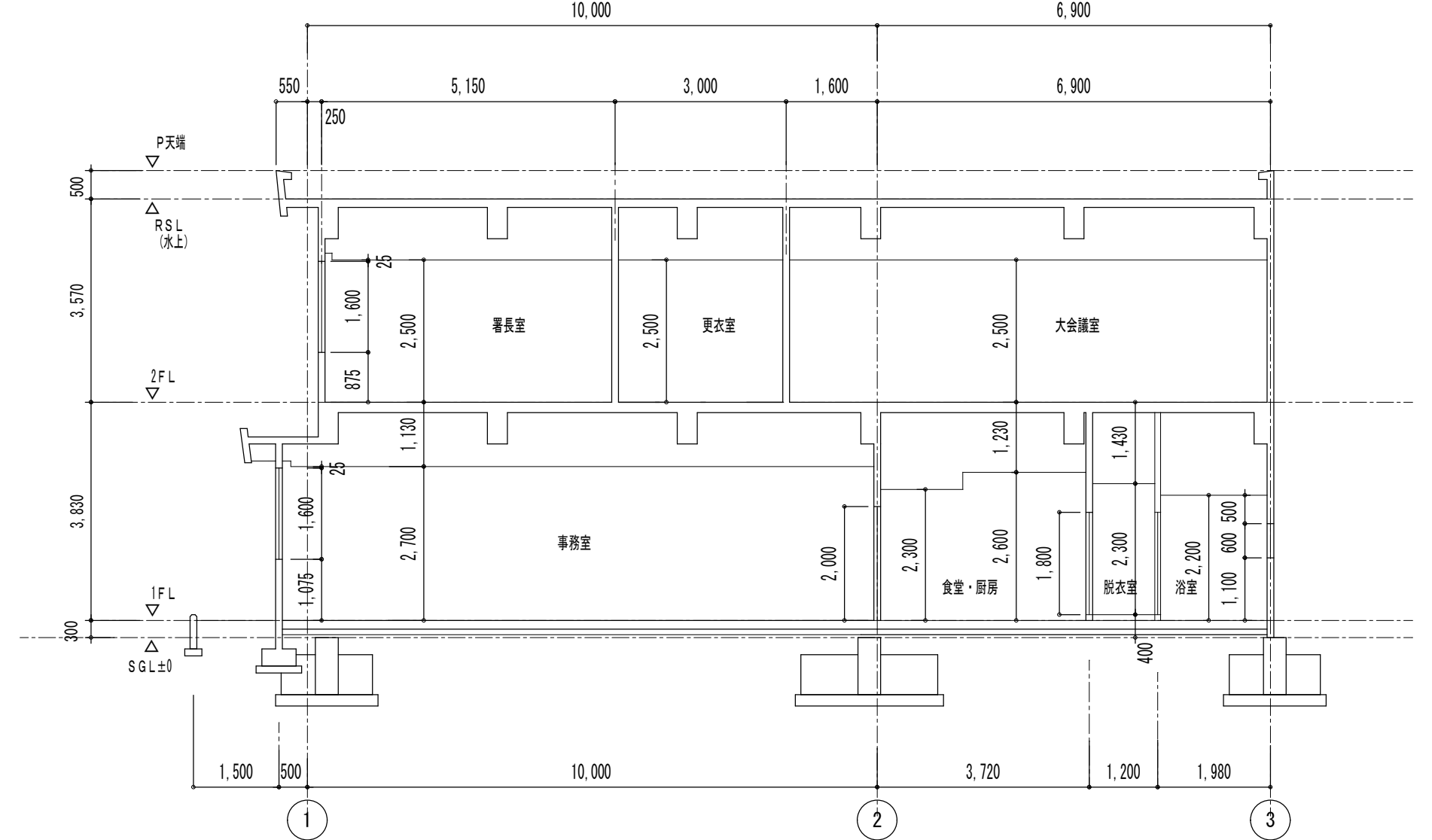
A-A 断面図 1/100



C-C 断面図 1/100



B-B 断面図 1/100



D-D 断面図 1/100

参考図

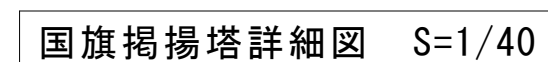
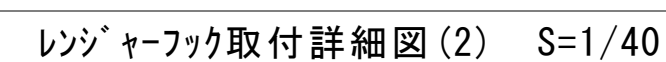
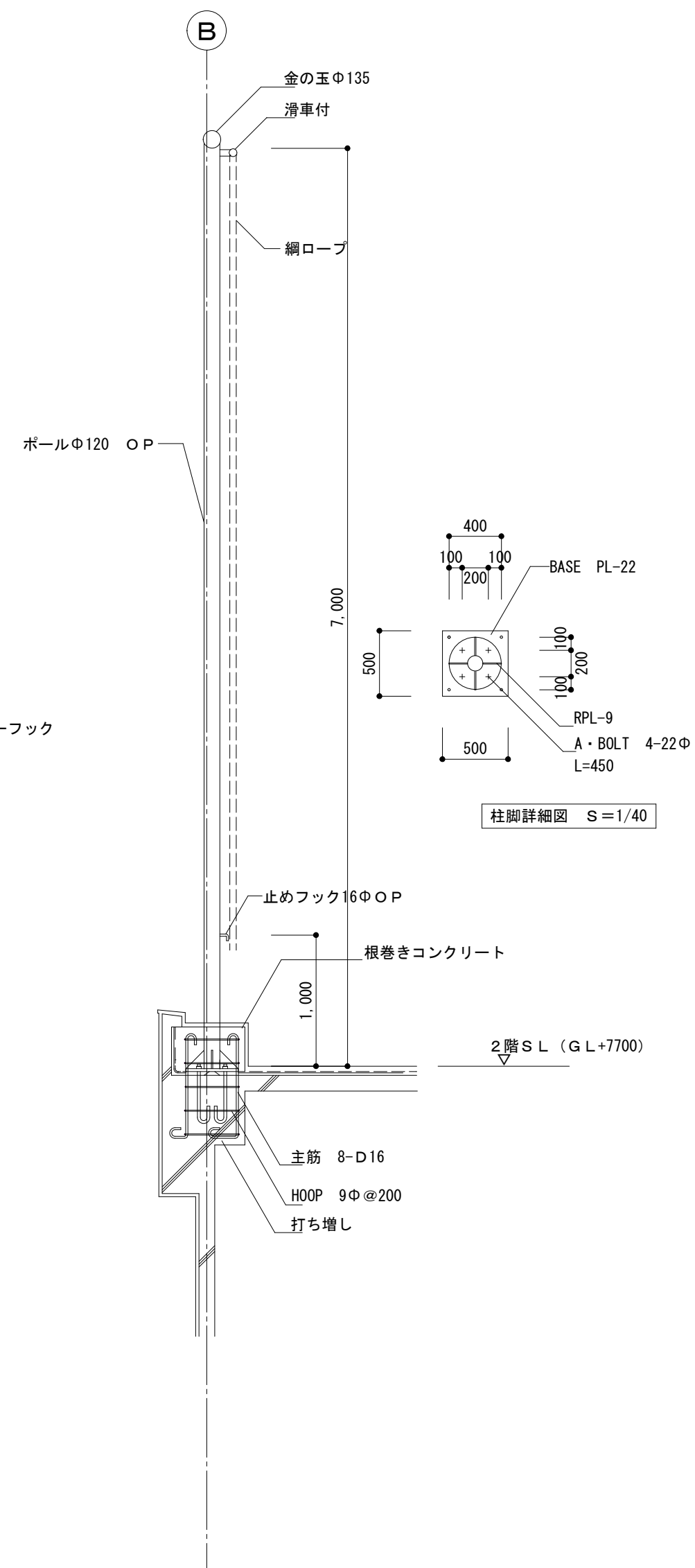
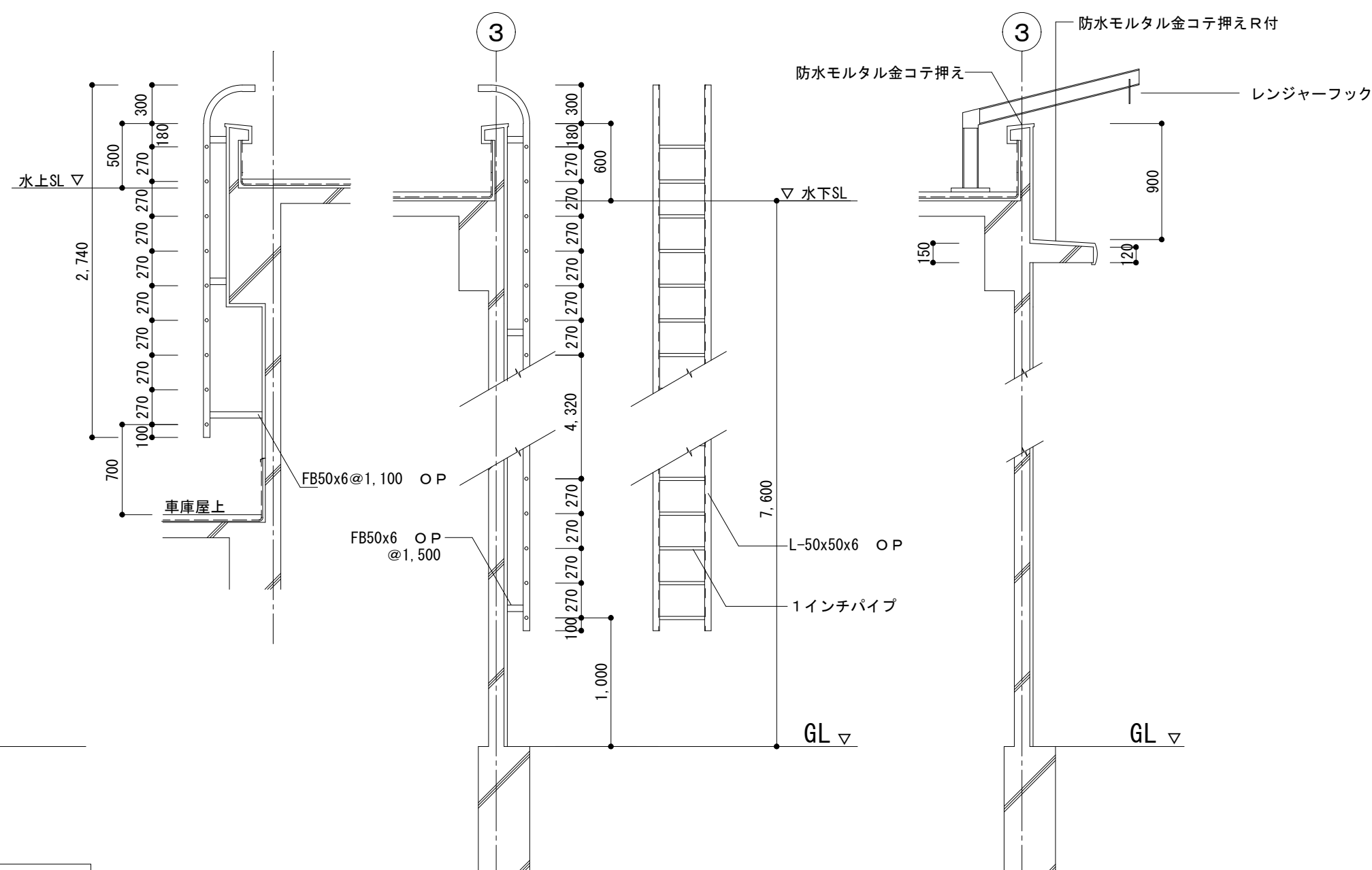
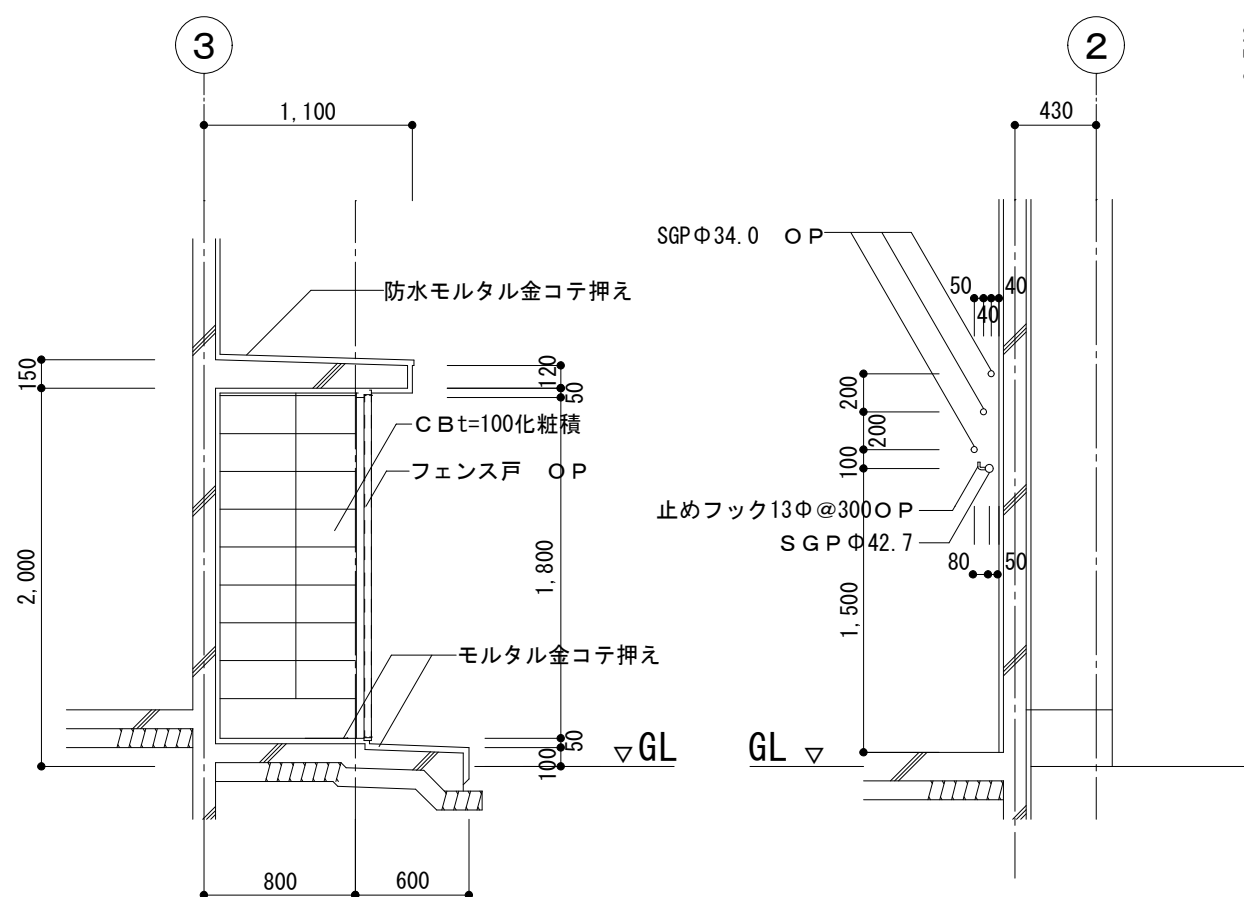
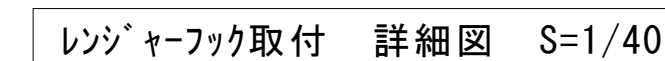
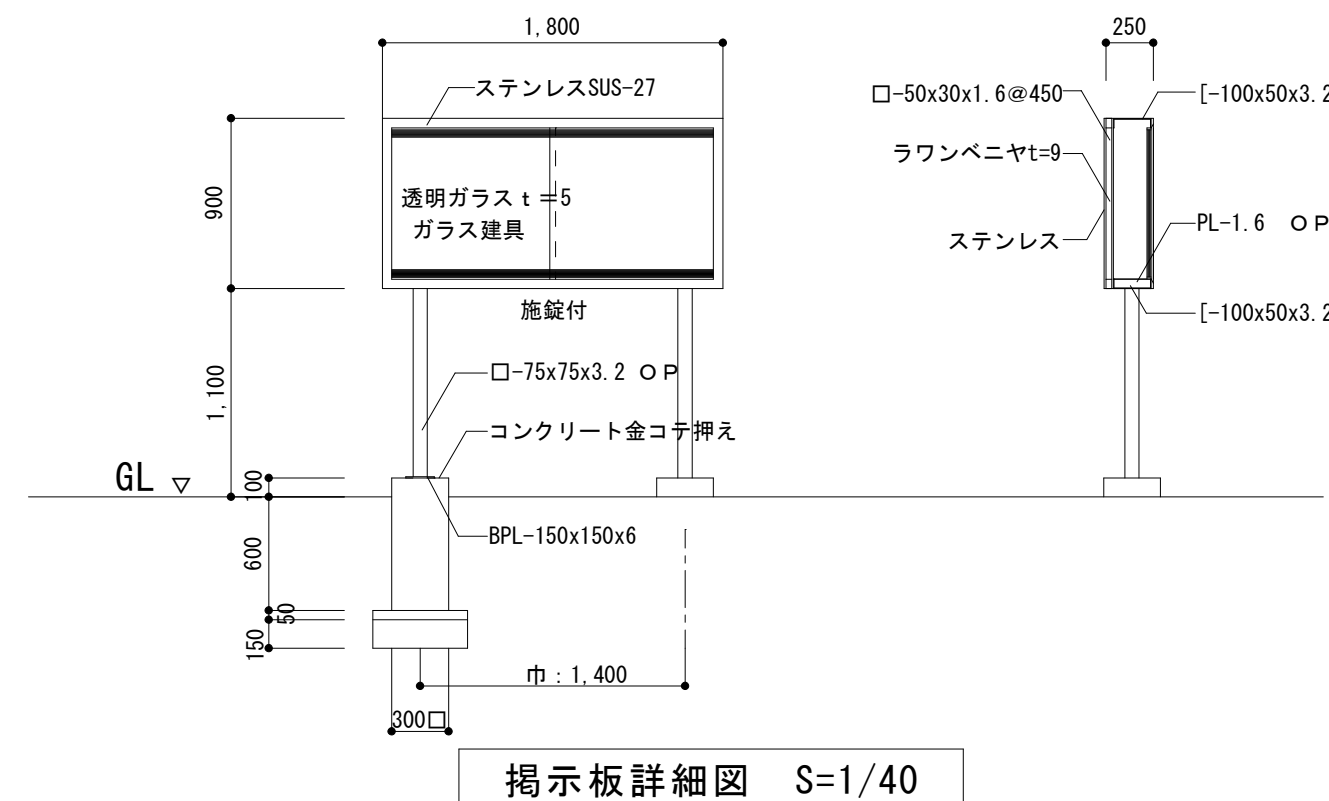
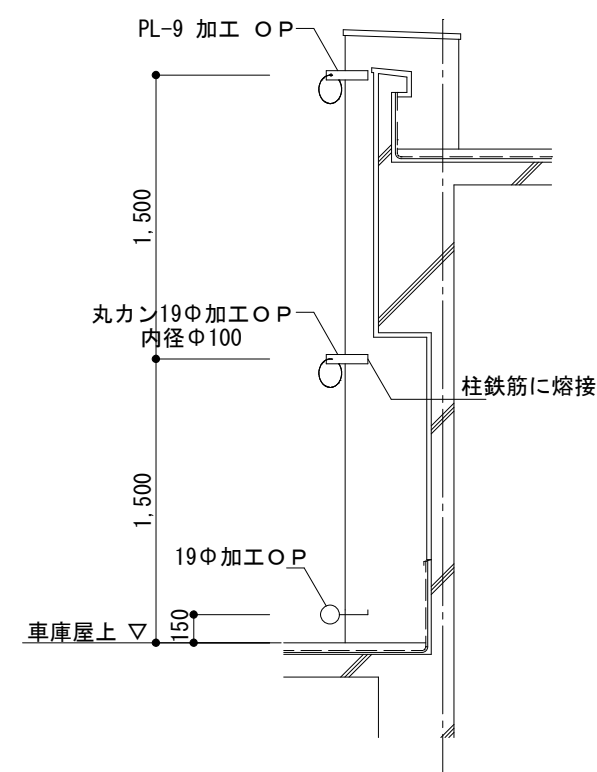
宮本総合建築事務所
1級建築士 第167117号 宮本徳良

工事番号
整理番号

工事名
図面名

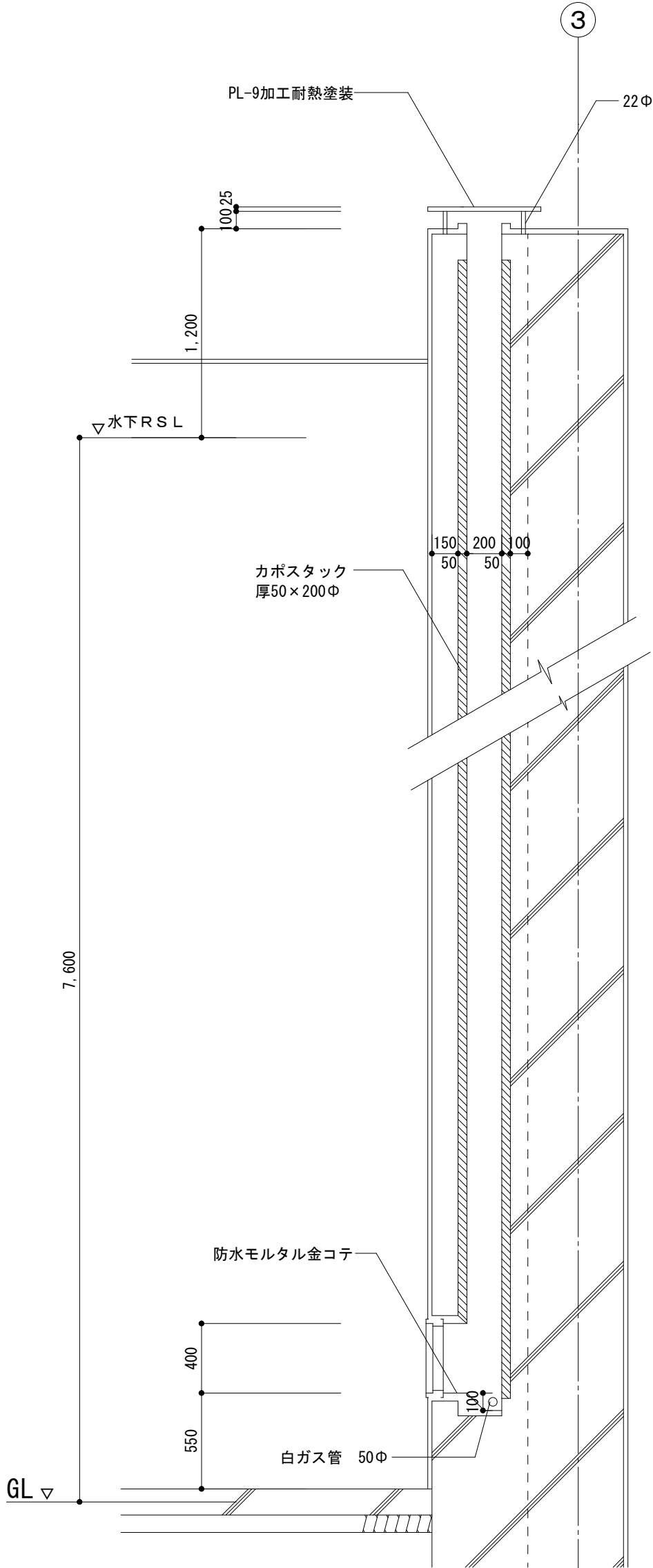
年月日
検図
設計

承認
図面番号
A
7

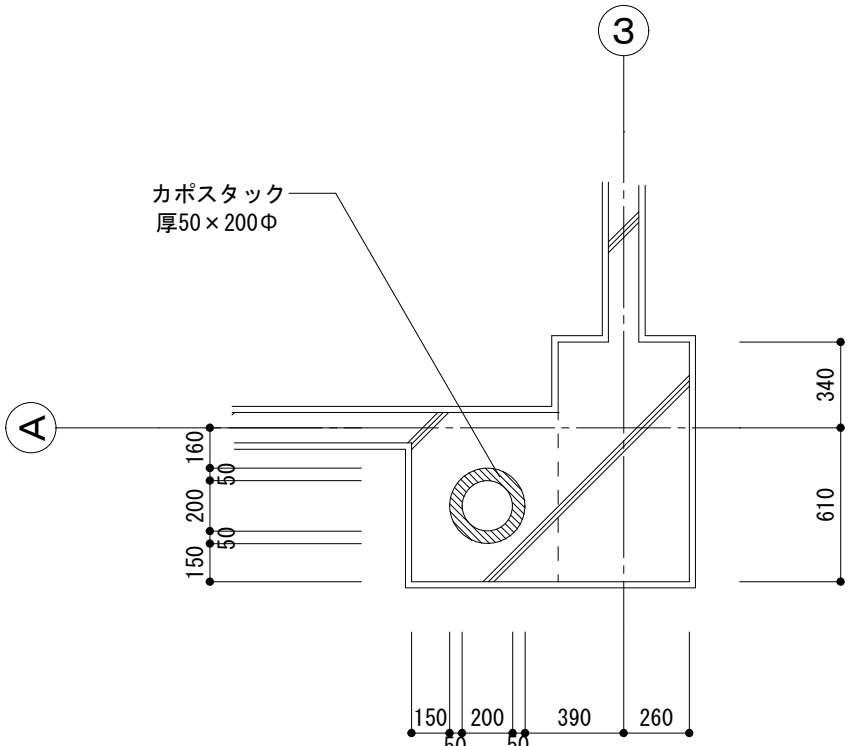


- カボスタック撤去時の注意事項
- ・煙突内部のカボスタックは、建物解体時に先立ち、高圧ウォータージェット工法により撤去を行うこと。
 - ・カボスタック撤去の際は、飛散防止隔離養生を行うと共に、クリンルーム、集塵機等の必要設備を設置すること。
 - ・下記表を基に環境測定を行い報告書を提出すること。測定位置は監督員と協議すること。
 - ・撤去後のアスベストは特別産業廃棄物として、積込、運搬、処分を行うこと。

石綿粉塵濃度測定				
	測定名称	測定場所	測定点	備考
処理作業前	測定 1	処理作業室内	2	上部下部各 1 点
	測定 2	敷地境界		
処理作業中	測定 3	処理作業室内	2	上部下部各 1 点
	測定 4	セキュリティゾーン入口	2	上部下部各 1 点
	測定 5	負圧・除じん装置の排吹き出し口	1	
	測定 6	敷地境界	4 方向各 1 点	
処理作業後 (隔離シート撤去前)	測定 7	処理作業室内	2	上部下部各 1 点
	測定 8	敷地境界	4 方向各 1 点	
計 17 点				



煙突 断面詳細図 S=1/30



煙突 平面詳細図 S=1/30

参考図

宮本総合建築事務所
1級建築士 第167117号 宮本徳良

工事番号

整理番号

工事名

図面名

津市久居消防署南分署解体工事

既設各所詳細図 (2)

縮尺 (A2 原図)
1/30

年月日

検図

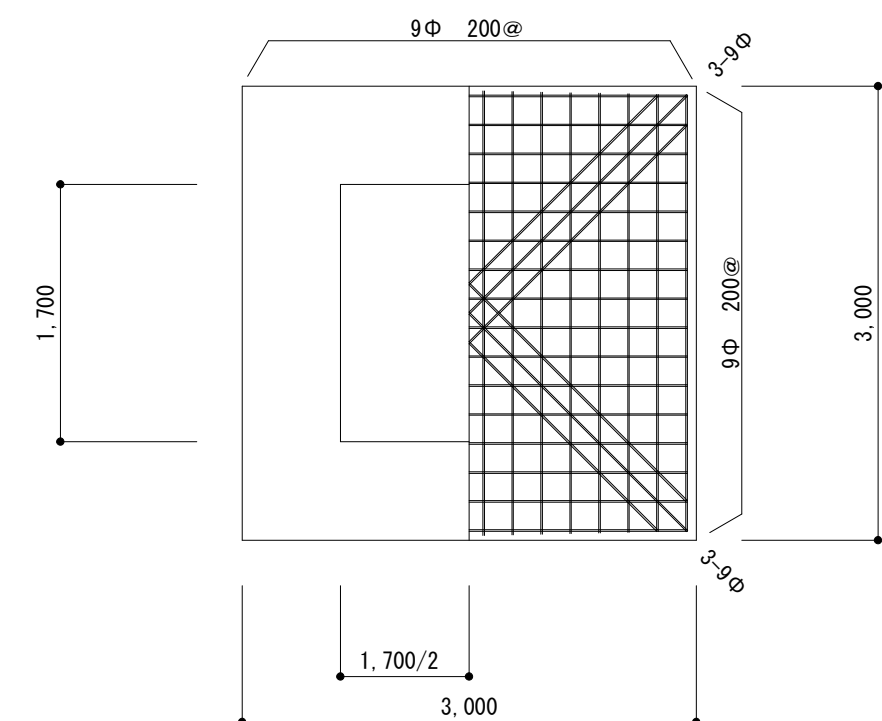
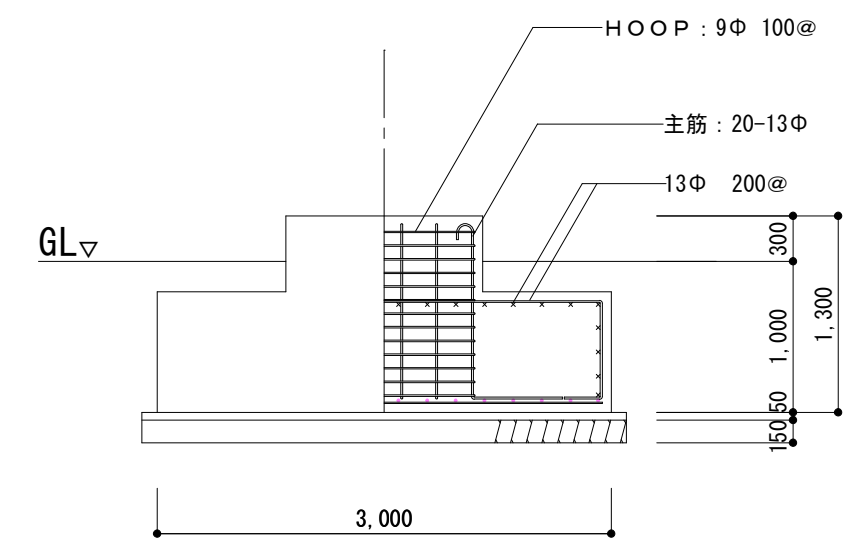
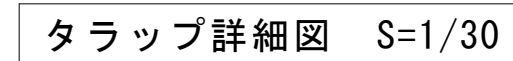
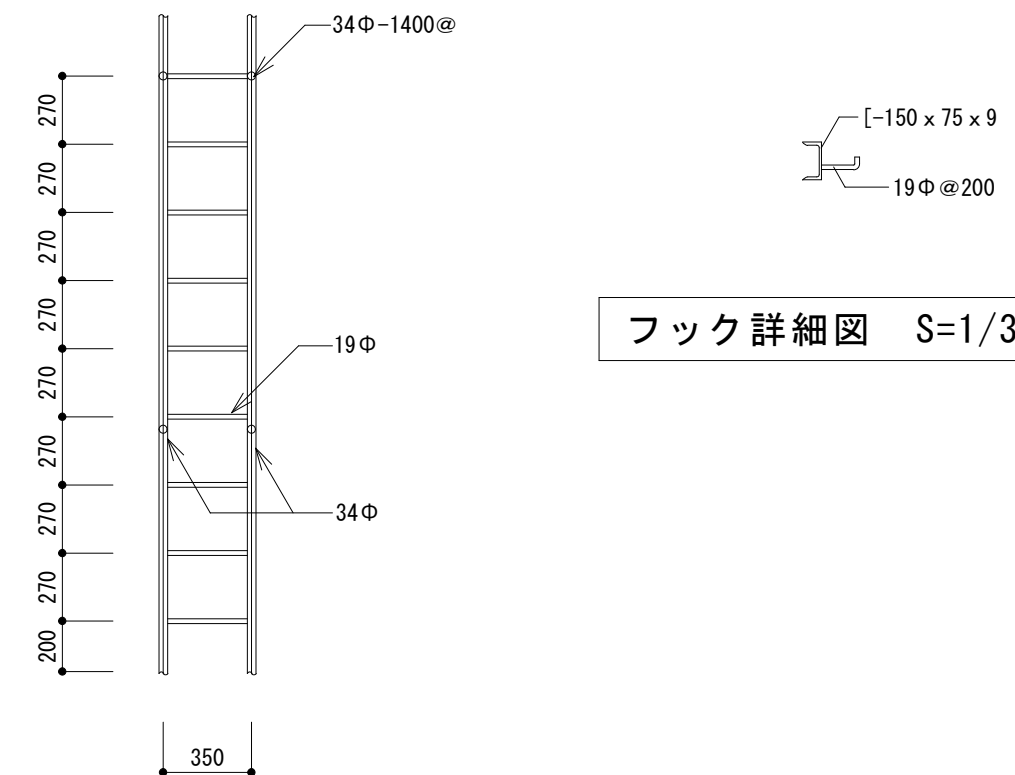
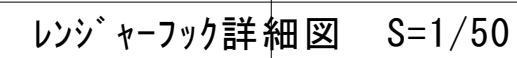
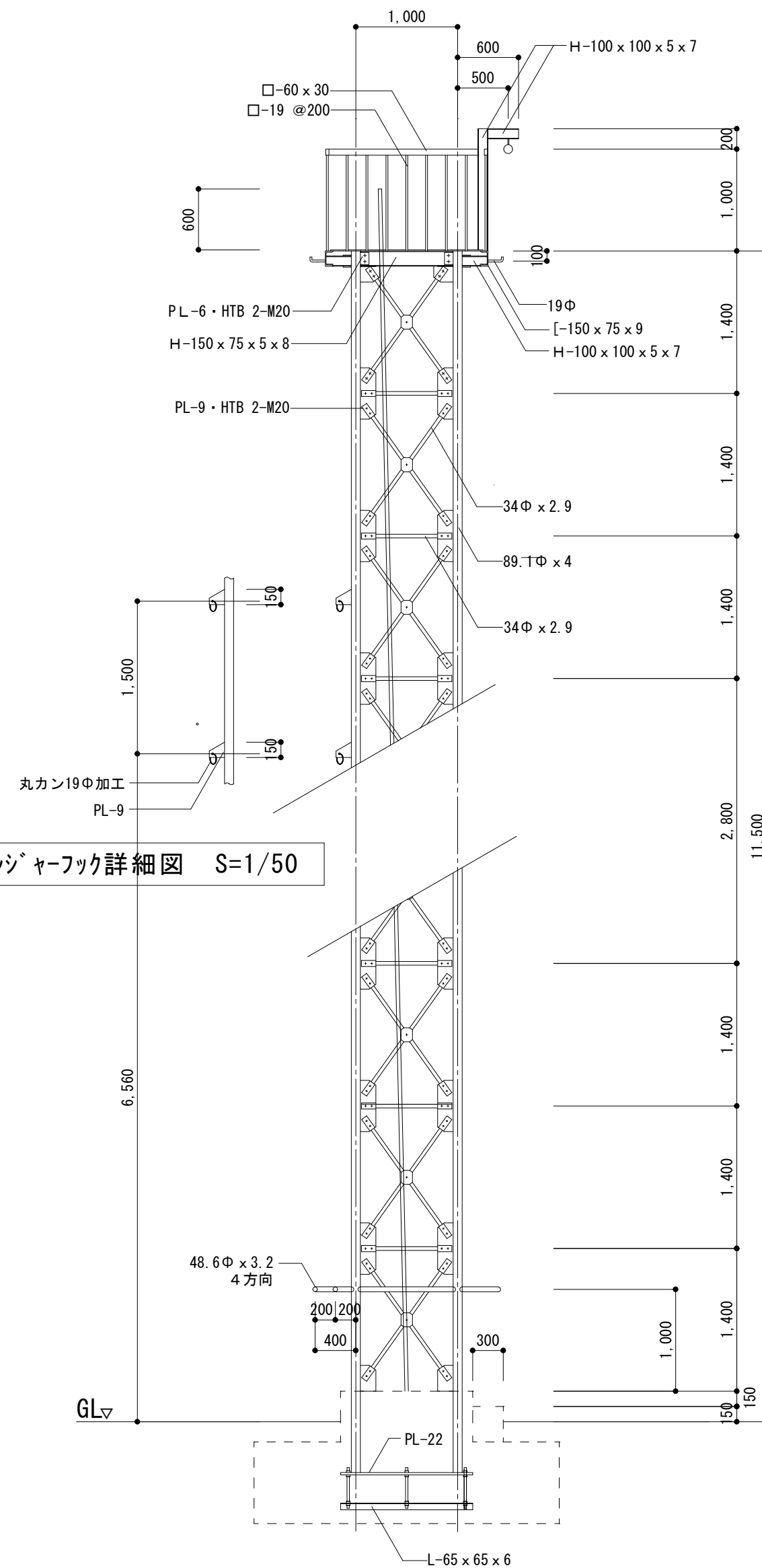
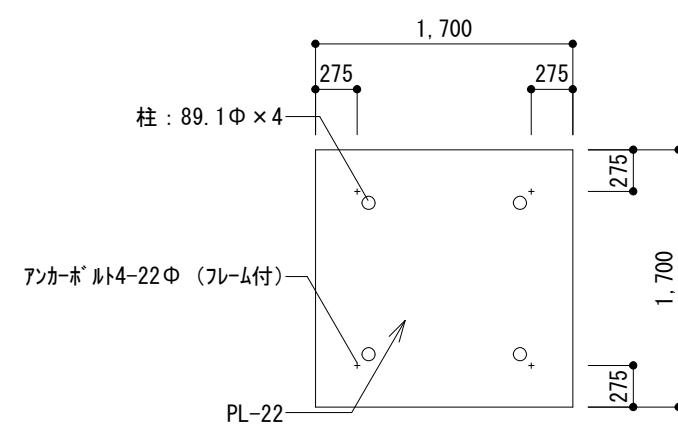
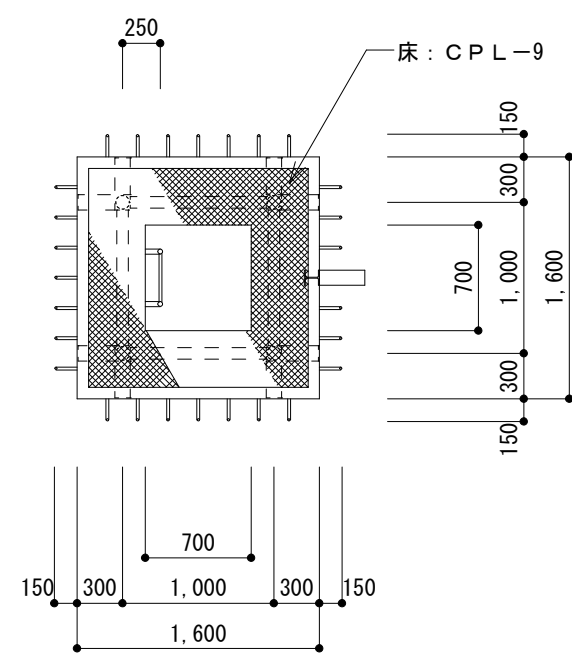
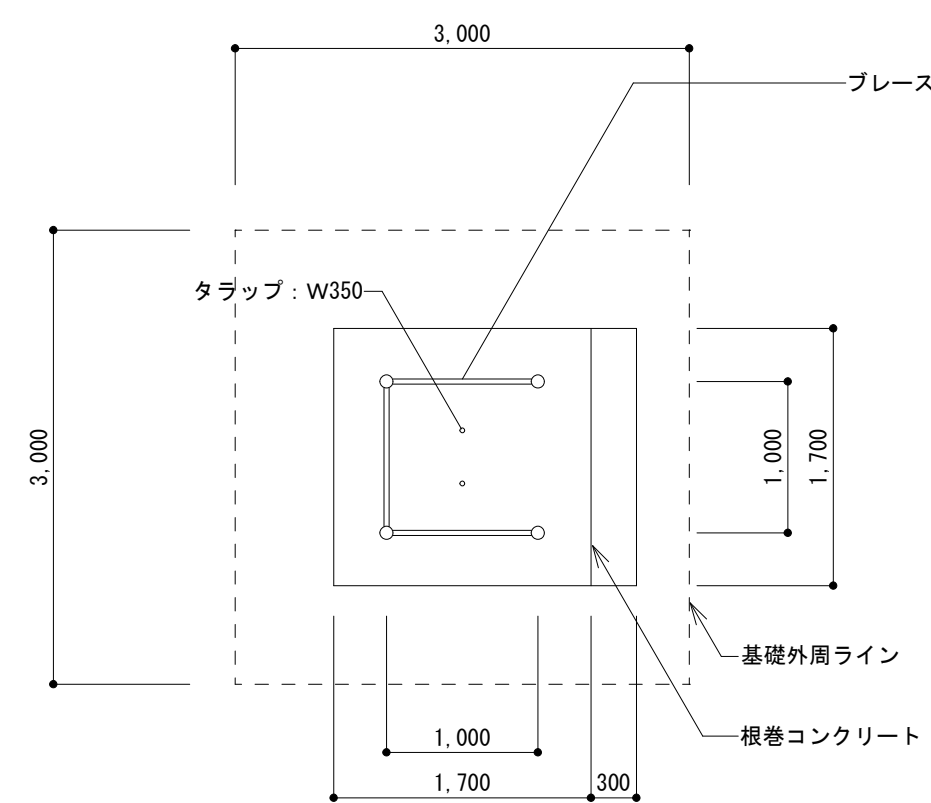
設計

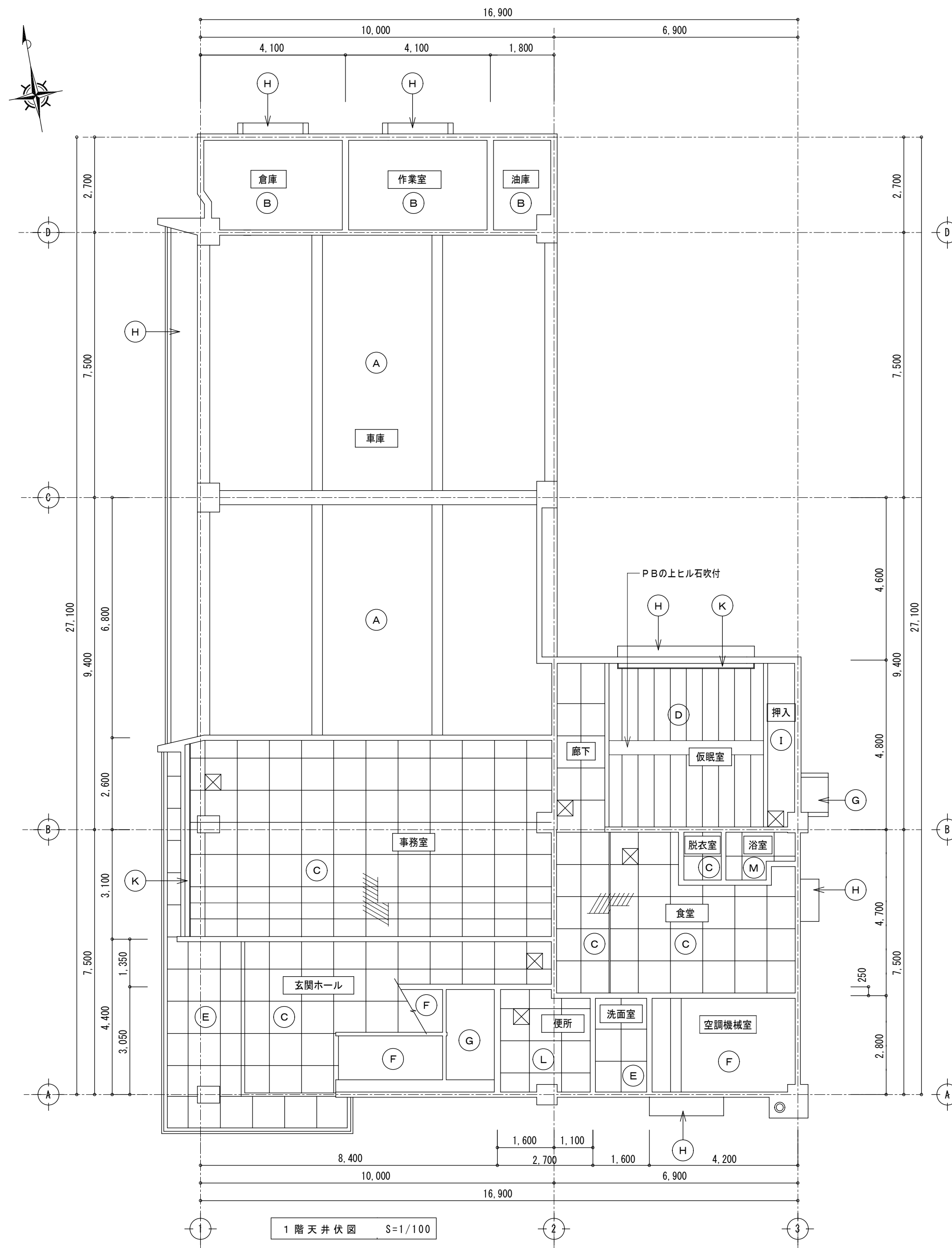
承認

図面番号

A

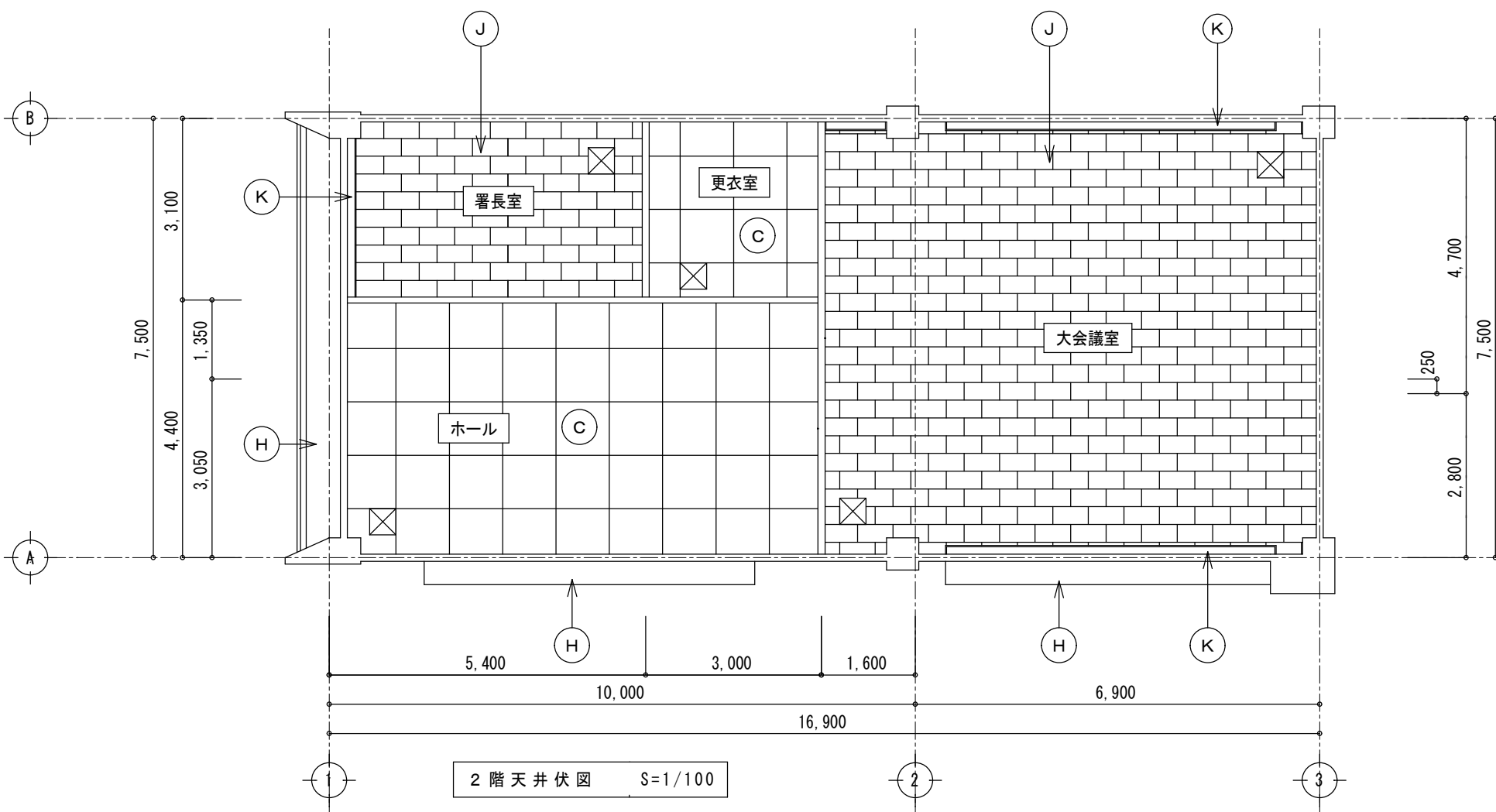
9

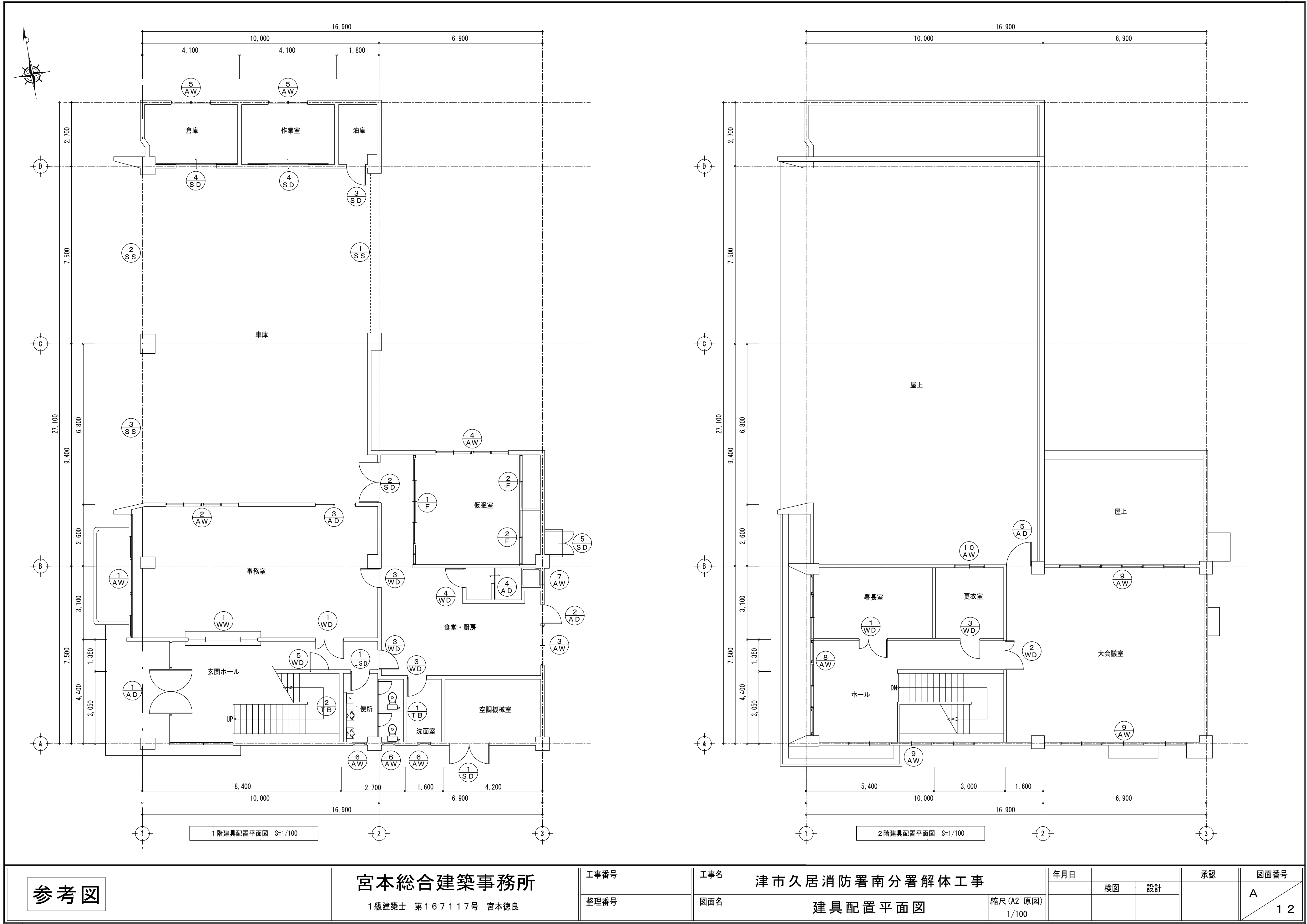




凡例			
部位	下地	塗装	備考
A	木毛版ア 2 0	A V P 吹付	
B	木毛版ア 2 0		
C	石膏ボードア 9 目透し貼	A V P	
D	化粧合板貼リア 6 × 4 5 5		
E	フレキシブルボードア 4 目透し貼	ラフトン吹付	
F	モルタル金コテ	A V P	
G	コンクリート型枠打ち放し		
H	コンクリート型枠打ち放し	アクリルリシン吹付	
I	ラワン合板ア 4		
J	石膏ボードア 9 下地ダイロートン貼		
K	木製カーテンボックス W : 120 × H : 100	O P	
L	化粧石膏ボードア 9 × 9 1 0 × 9 1 0		
M	バスリブ貼り		
☒	アルミ点検口 4 5 0 角		

※特記ナキ、ブラインド等は撤去とする。





参考図

宮本総合建築事務所
1級建築士 第167117号 宮本徳良

工事番号
整理番号

工事名
図面名
津市久居消防署南分署解体工事
建具配置平面図

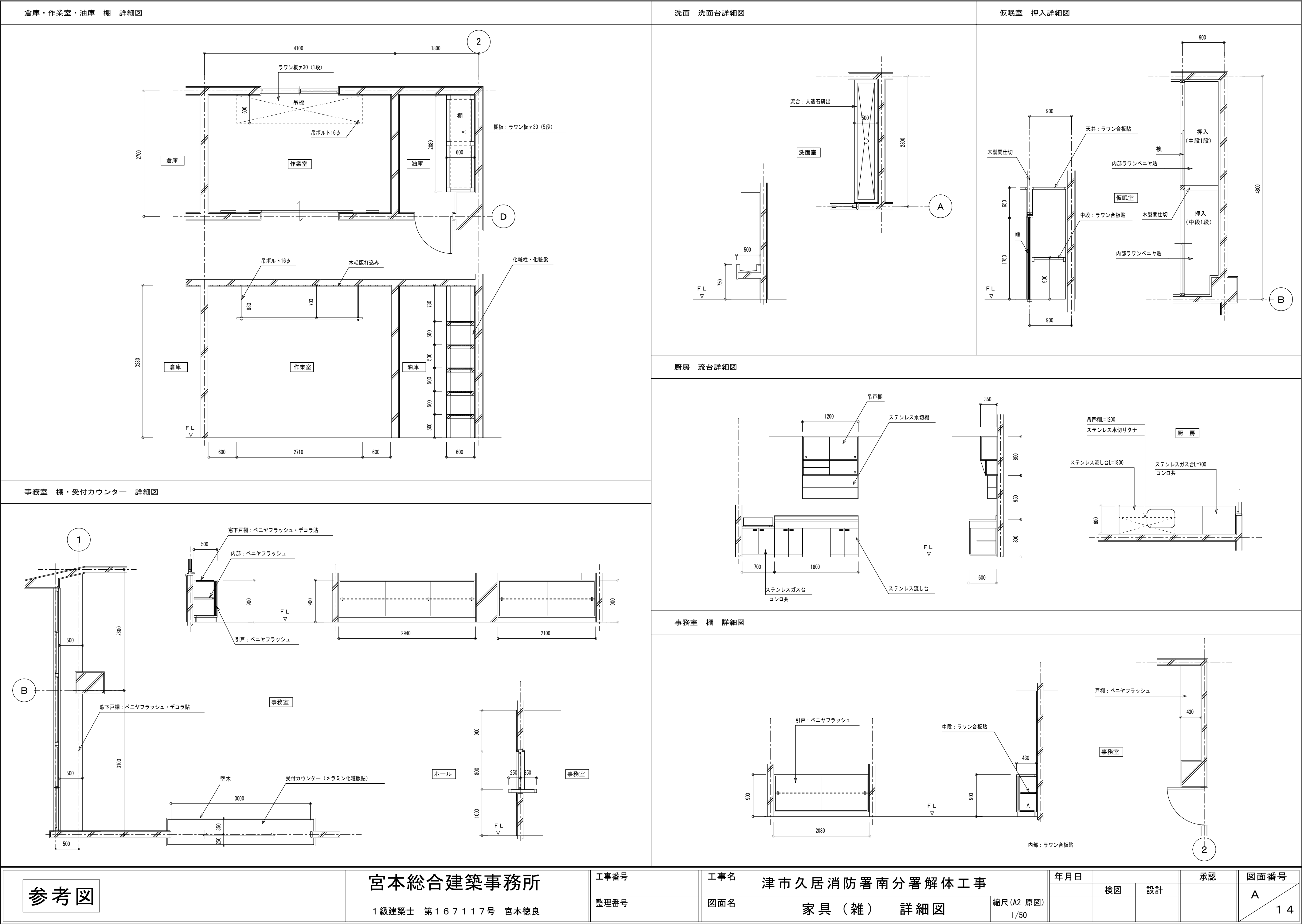
縮尺 (A2 原図)
1/100

年月日
検図
設計

承認

図面番号
A
1 2

符号／取付場所 個数	1 SS 車庫 1		2 SS 車庫 1		3 SS 車庫 1		1 AW 事務室 1		2 AW 事務室 1		3 AW 食堂・厨房 1		4 AW 事務室 1									
型式／見込	電動スチールシャッター スラット ア1.6		電動スチールシャッター スラット ア1.6		電動スチールシャッター スラット ア1.6		アルミ製引違窓+中央アルミ製嵌殺窓 70		アルミ製2連引違窓 70		アルミ製引違窓 70		アルミ製2連引違窓 70									
仕上	SOP		SOP		SOP		自然発色被膜（アルマイト仕上）		自然発色被膜（アルマイト仕上）		自然発色被膜（アルマイト仕上）		自然発色被膜（アルマイト仕上）									
硝子							透明 ア 5		線入透明 ア 6. 8		型 ア 3		透明 ア 3									
付属金物	付属電動金物一式		付属電動金物一式		付属電動金物一式		クレセント・引手・アングルピース・水切り		クレセント・引手・アングルピース・水切り		クレセント・引手・アングルピース・水切り		クレセント・引手・アングルピース・水切り									
備考							可動網戸		可動網戸		可動網戸											
符号／取付場所 個数	5 AW 作業室・倉庫 2		6 AW 洗面室・便所 3		7 AW 浴室 1		8 AW ホール・署長室 1		9 AW ホール・大会議室 3		10 AW 更衣室 1		1 AD ホール 1		2 AD 食堂・厨房 1							
型式／見込	アルミ製引違窓 70		アルミ製押出し上下2連窓 70		アルミ製押出窓 70		アルミ製嵌殺窓付アルミ引違窓 70		アルミ製引違3連窓 70		アルミ製引違窓 70		アルミ製嵌殺ランマ付両開きドア・アルミ製ランマ付嵌殺窓		アルミ製ランマ付片開戸							
仕上	自然発色被膜（アルマイト仕上）		自然発色被膜（アルマイト仕上）		自然発色被膜（アルマイト仕上）		自然発色被膜（アルマイト仕上）		自然発色被膜（アルマイト仕上）		自然発色被膜（アルマイト仕上）		自然発色被膜（アルマイト仕上）		自然発色被膜（アルマイト仕上）							
硝子	透明 ア 3		型 ア 4		型 ア 4		透明 ア 5		透明 ア 5		透明 ア 3		透明 ア 3		型 ア 4							
付属金物	クレセント・引手・アングルピース・水切り		レバーハンドル・ガイドピン・アングルピース・水切り		レバーハンドル・ガイドピン・アングルピース・水切り		レバーハンドル・ガイドピン・アングルピース・水切り		レバーハンドル・ガイドピン・アングルピース・水切り		クレセント・引手・アングルピース・水切り		クレセント・引手・アングルピース・水切り		シリンドー錠・T番・ドアチェック							
備考															アングルピース・水切り							
符号／取付場所 個数	3 AD 事務室 1		4 AD 浴室 1		5 AD 大会議室 1		1 SD 空調機械室 1		2 SD 車庫 1		3 SD 油庫 1		4 SD 作業室・倉庫 2		5 SD プロバン庫 1		1 WD 事務室・署長室 2		2 WD 大会議室 1			
型式／見込	アルミ製引違戸 70		アルミ製引違戸 70		アルミ製片開戸 70		スチール製両開戸 80		スチール製両開戸 80		スチール製片開戸 80		スチール製両引き戸 80		スチールアングルフェンス戸 80		木製両開きベニヤフラッシュ親子戸 36		木製両開きベニヤフラッシュ親子戸 36			
仕上	自然発色被膜（アルマイト仕上）		自然発色被膜（アルマイト仕上）		自然発色被膜（アルマイト仕上）		SOP		SOP		SOP		SOP		SOP		SOP		SOP			
硝子	線入り ア 6. 8		型 ア 4. 0		アルミパネル				線入り 6.8 mm		線入り 6.8 mm		線入り 6.8 mm				型ガラス 4.0mm		型ガラス 4.0mm			
付属金物	シリンドー錠・引手・アングルピース・水切り		引手・アングルピース		シリンドー錠・T番・アングルピース		シリンドー錠・フランス落シ・ドアチェック		シリンドー錠・フランス落シ・ドアチェック		シリンドー錠・ストッパー・戸当り		ステンレス握り棒・シリンドー錠・フランス落し鍵錠		T番・フランス落し・南京錠		シリンドー錠・T番・フランス落し		シリンドー錠・T番・フランス落し			
備考							アングルピース・ガラリ600×500		アングルピース・中抜窓		650×300ガラリ		650×300ガラリ		アングル40×40×3		ドアチェック		ドアチェック			
符号／取付場所 個数	3 WD 事務室・洗面室・更衣室・食堂厨房 4		4 WD 脱衣室 1		5 WD 階段下物入 1		1 F 仮眠室 1		2 F 仮眠室 2		1 WW 事務室 1		1 LSD 便所 1		1 TB 便所 1		2 TB 便所 1					
型式／見込	木製片開きベニヤフラッシュ戸 36		木製片開きベニヤフラッシュ戸 36		木製片開きベニヤフラッシュ戸 36		4本引違戸機 30		4本引違戸機 30		4本引違ガラス戸		銅製軽量片開き戸 36		トイレブース 40		トイレブース 40					
仕上	SOP		SOP		SOP		新鳥の子和紙・シナベニヤ素地		新鳥の子和紙・シナベニヤSOP		透明ガラス 5		焼付塗装銅板		メラミン化粧合板		メラミン化粧合板					
硝子	型ガラス 4.0		型ガラス 4.0										型ガラス 4.0mm									
付属金物	シリンドー錠・T番・ドアチェック		シリンドー錠・T番・ストッパー		シリンドー錠・T番・ストッパー		引手・戸車		引手・戸車		引手加工・そろばんレール		シリンドー錠・T番・戸当り		ステンレスエッジ・笠木・幅木		ステンレスエッジ・笠木・幅木					
備考			T番		T番								ステンレス沓摺		表示錠・その他一式							
参考図			宮本総合建築事務所 1級建築士 第167117号 宮本徳良				工事番号		工事名 津市久居消防署南分署解体工事						年月日		承認		図面番号			
							整理番号		図面名 建具リスト図						縮尺(A2 原図) 1/100		検図		設計		A 13	



参考図

宮本総合建築事務所

1級建築士 第167117号 宮本徳良

工事番号

整理番号

工事名

図面名

津市久居消防署南分署解体工事

家具（雑） 詳細図

縮尺 (A2 原図)
1/50

年月日

検図

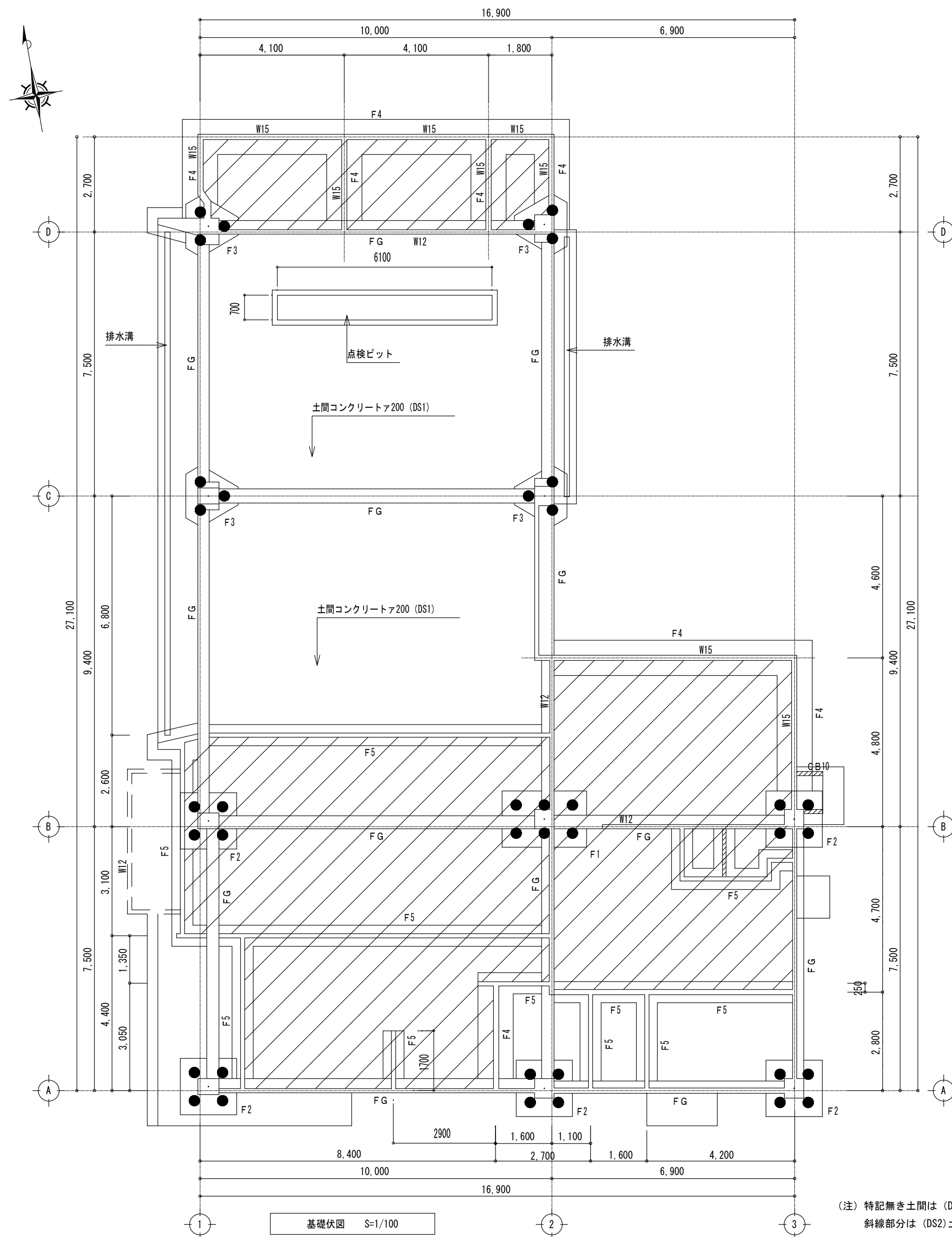
設計

承認

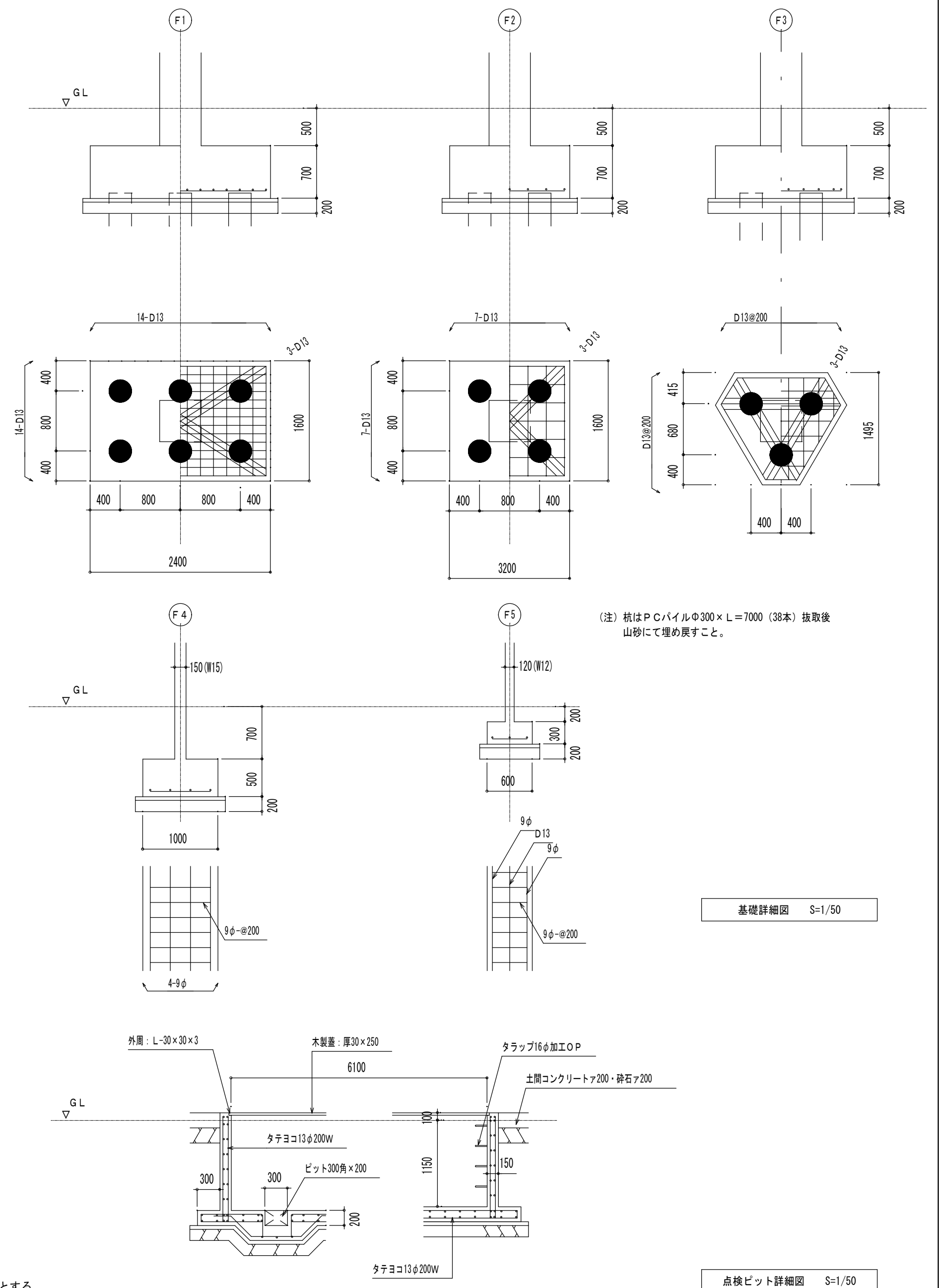
図面番号

A

14

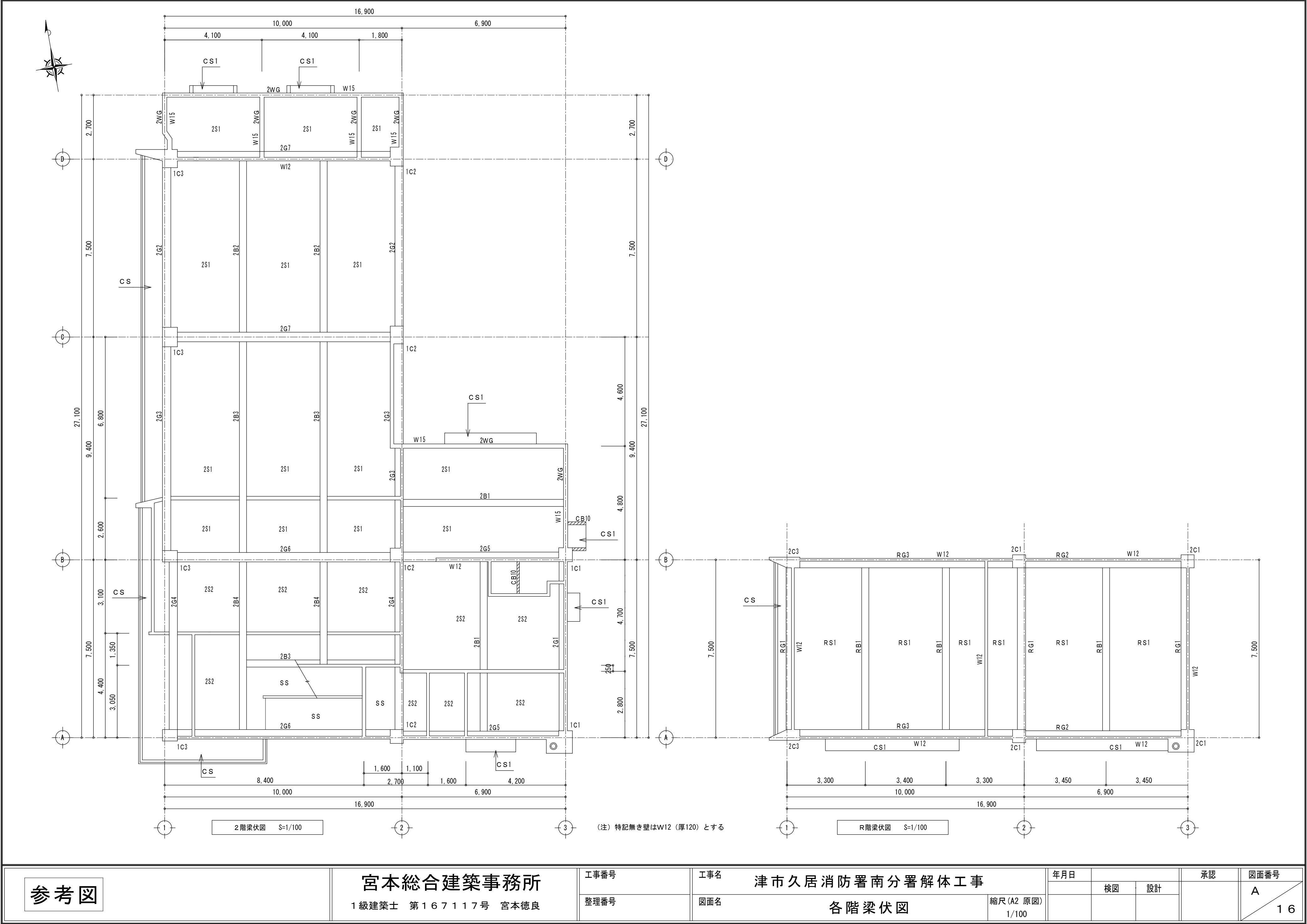


(注) 特記無き土間は (DS2・厚100) とする
斜線部分は (DS2) 土間防湿シート厚0.2敷きを示す



(注) 杭はPCパイロ $\Phi 300 \times L=7000$ (38本) 抜取後山砂にて埋め戻すこと。

点検ピット詳細図 S=1/50



参考図

宮本総合建築事務所
1級建築士 第167117号 宮本徳良

工事番号

整理番号

工事名

図面名

津市久居消防署南分署解体工事

各階梁伏図

縮尺 (A2 原図)
1/100

年月日

検図

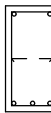
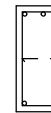
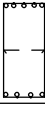
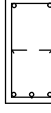
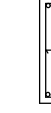
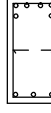
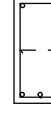
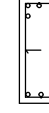
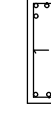
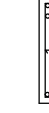
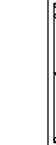
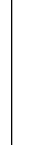
設計

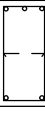
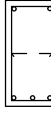
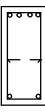
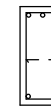
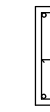
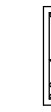
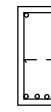
承認

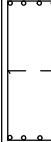
図面番号

A

16

大梁リスト										柱 リスト											
符 号	RG1			RG2			RG3			2WG			符 号	1C1	1C2	1C3	符 号	2C1			2C3
b × D	350×700			350×700			400×900			150×1100			b × D	550×550	550×550	450×600	b × D	550×550			450×600
位 置	両端	中央		3端	中央	2端	端部	中央	端部	全断面			1階				2階				
R階										 2-9φ 2-9φ											
上 筋	3-D22	2-D22		3-D22	2-D22	4-D22	4-D22	2-D22	4-D22	2-D13				主 筋	12-D25	20-D25	16-D25	主 筋	8-D25	12-D25	
下 筋	2-D22	3-D22		2-D22	3-D22	2-D22	2-D22	4-D22	2-D22	2-D13				HOOP	9φ-@100	9φ-@100	9φ-@100	HOOP	9φ-@100	9φ-@100	
S T	9φ-180@	9φ-180@		9φ-180@	9φ-180@	9φ-180@	9φ-150@	9φ-150@	9φ-150@	9φ-200@				D H	9φ-@600	9φ-@600	9φ-@600	D H	9φ-@600	9φ-@600	
特記事項													特記事項				特記事項				
符 号	2G1			2G2			2G3			2G4			2G5			2G6			2G7		
b × D	350×700			350×700			350×700			350×700			350×700			400×1000			400×1000		
位 置	両端	中央		外端	中央	内端	C端	中央	B端	B端	中央	A端	3端	中央	2端	2端	中央	1端	2端	中央	1端
2階																					
	上 筋	5-D22	2-D22	5-D22	2-D22	5-D22	4-D22	2-D22	5-D22	6-D22	2-D22	6-D22	6-D22	2-D22	7-D22	7-D25	6-D25	5-D25	4-D25	7-D25	3-D25
	下 筋	4-D22	3-D22	4-D22	3-D22	3-D22	2-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	4-D22	4-D22	3-D22	4-D22	4-D25	6-D25	3-D25	2-D25	7-D25	2-D25
	S T	9φ-180@	9φ-180@	9φ-180@	9φ-180@	9φ-180@	9φ-180@	9φ-180@	9φ-180@	9φ-180@	9φ-180@	9φ-180@	9φ-150@	9φ-150@	9φ-150@	9φ-150@	9φ-150@	9φ-150@	9φ-150@	9φ-150@	9φ-150@
特記事項																					

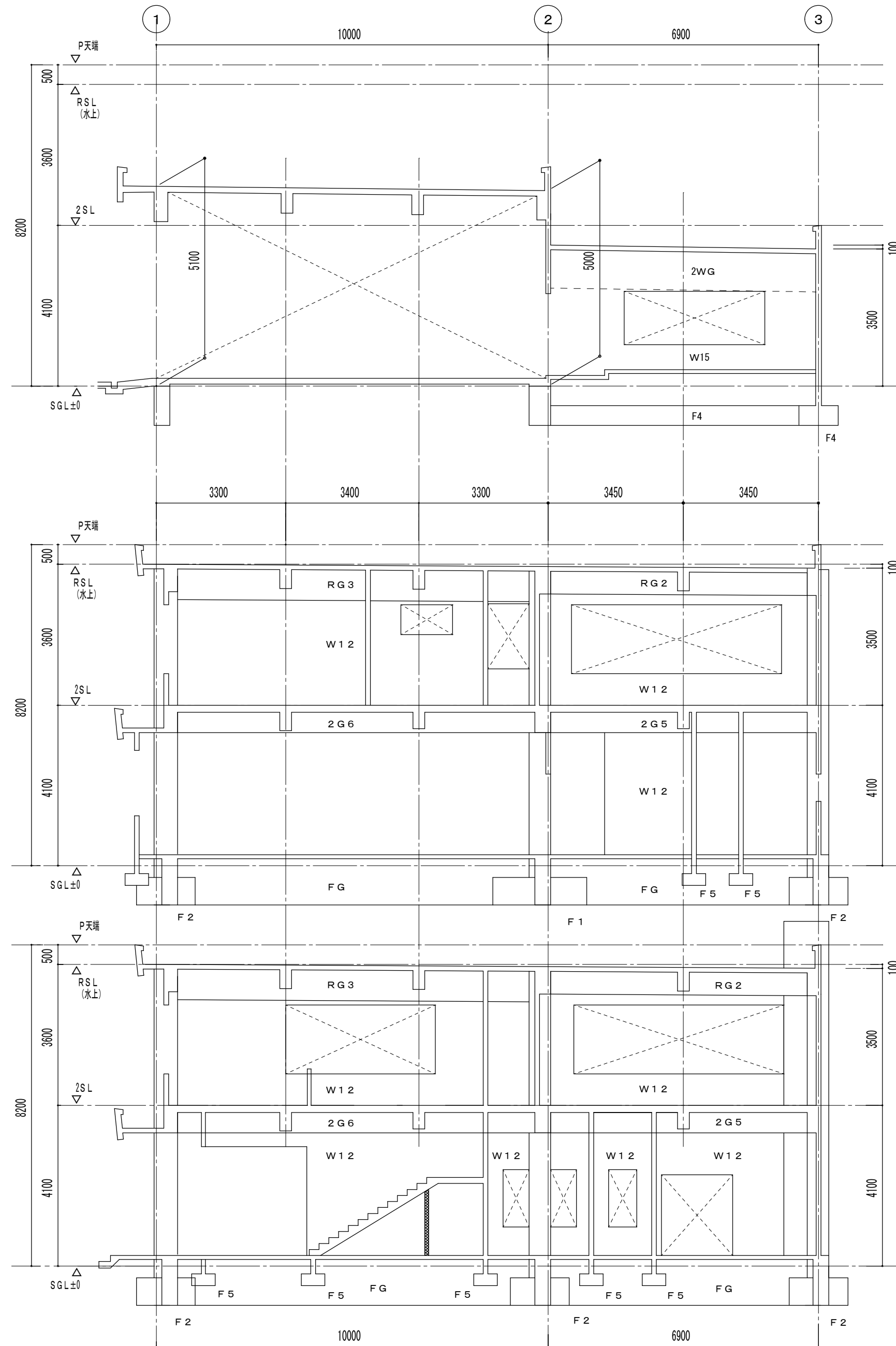
小梁リスト												
符 号	RB1											
b × D	300×600											
位 置	両端	中央										
R階												
	上 筋	3-D22	2-D22									
	下 筋	2-D22	3-D22									
	S T	9φ-200@	9φ-200@									
特記事項												
符 号	2B1		2B2	2B3		2B4						
b × D	300×650		300×650		300×650		300×650					
位 置	両端	中央	外端	中央	内端	C端	中央	B端	外端	中央	内端	
2階												
	上 筋	4-D22	2-D22	3-D22	2-D22	4-D22	4-D22	2-D22	4-D22	2-D22	3-D22	
	下 筋	2-D22	3-D22	2-D22	3-D22	2-D22	2-D22	5-D22	2-D22	2-D22	4-D22	2-D22
	S T	9φ-200@	9φ-200@	9φ-200@	9φ-200@	9φ-200@	9φ-200@	9φ-200@	9φ-200@	9φ-200@	9φ-200@	9φ-200@
特記事項												

地中梁リスト			
符 号	FG		
b × D	400×1000		
位 置	両端	中央	
地中梁			
	上 筋	4-D22	4-D22
	下 筋	4-D22	4-D22
	S T	9φ-150@	9φ-150@
特記事項			

壁 リスト			
符号	版厚		
W15	150	縦筋	9φ-@200
		横筋	9φ-@200
W12	120	縦筋	9φ-@200
		横筋	9φ-@200
CB	100	縦筋	9φ-@400
		横筋	9φ-@400

床版 リスト					
符号	版厚		主筋	配力筋	
			端部	中央	端部
RS1	120	上筋	D13@200	9φ・D13交互@200	9φ-@200
		下筋	9φ-@400		9φ-@400
2S1	120	上筋	D13@200	D13@200	9φ・D13交互@200
		下筋	D13@400		
2S2	120	上筋	D13@200	9φ・D13交互@200	9φ-@200
		下筋	9φ-@400		9φ-@400
CS	120 150	上筋	9φ@250	9φ@250	9φ@250
		下筋			9φ@250
CS1	120	上筋	D13@200	D13@200	D13@200
		下筋	9φ-@250		9φ-@250
SS	150	上筋	13φ-@200	13φ-@200	16φ-@150
		下筋	13φ-@200		16φ-@300
DS1	200	全断	9φ-@300	9φ-@300	
DS2	100	全断	無筋コンクリート	無筋コンクリート	

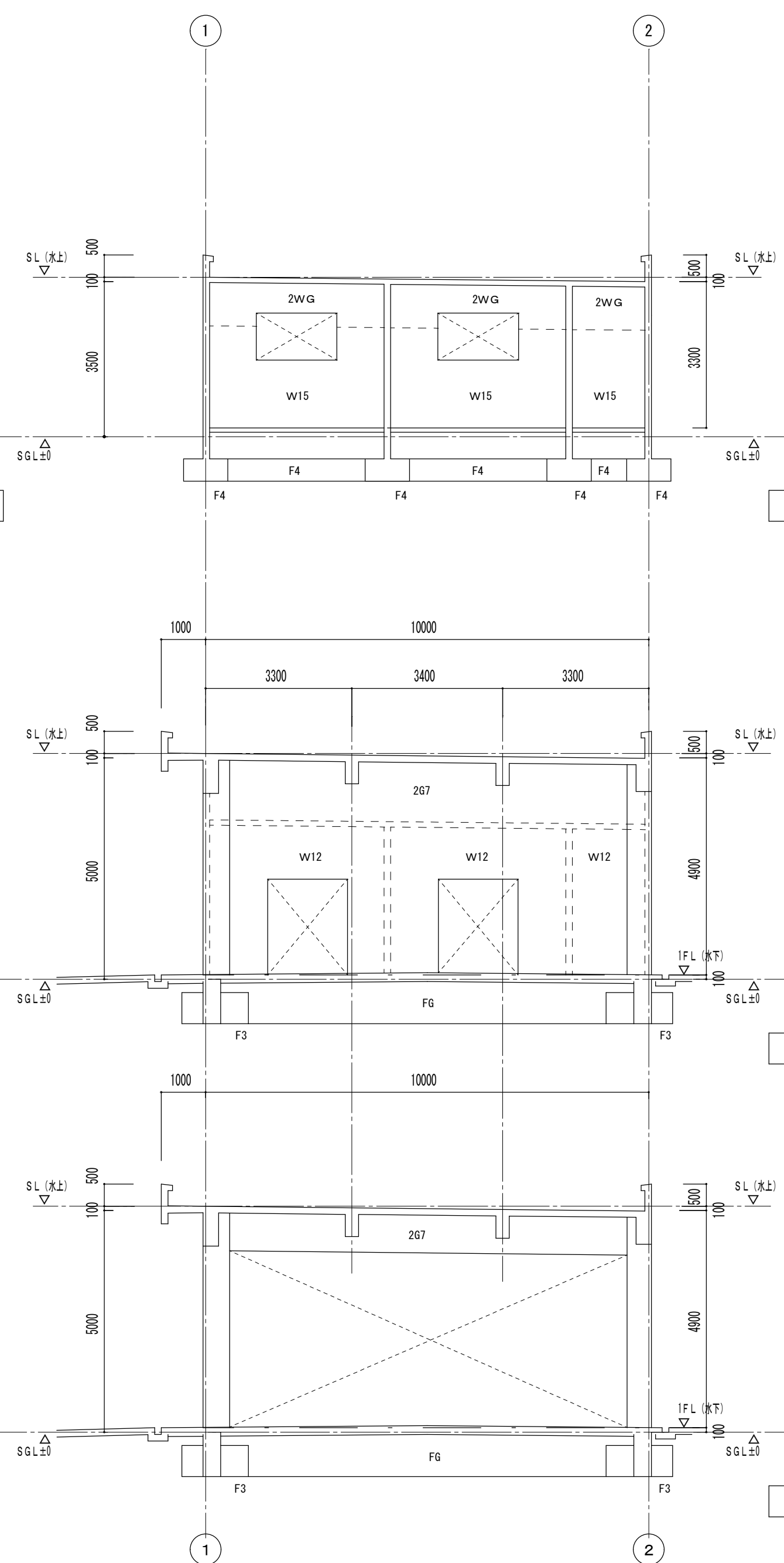
参考図	(注) 梁の巾止め筋は9φ@600以内とする	宮本総合建築事務所 1級建築士 第167117号 宮本徳良	工事番号	工事名	津市久居消防署南分署解体工事	年月日			承認	図面番号
			整理番号	図面名	柱・梁リスト図	縮尺(A2 原図) 1/50	検図	設計	A	



B+4800通り軸組図

B通り軸組図

A通り軸組図



D+2700通り軸組図

D通り軸組図

C通り軸組図

参考図

宮本総合建築事務所

1級建築士 第167117号 宮本徳良

工事番号

整理番号

工事名

図面名

津市久居消防署南分署解体工事

軸組図 (1)

縮尺 (A2 原図)
1/100

年月日

検図

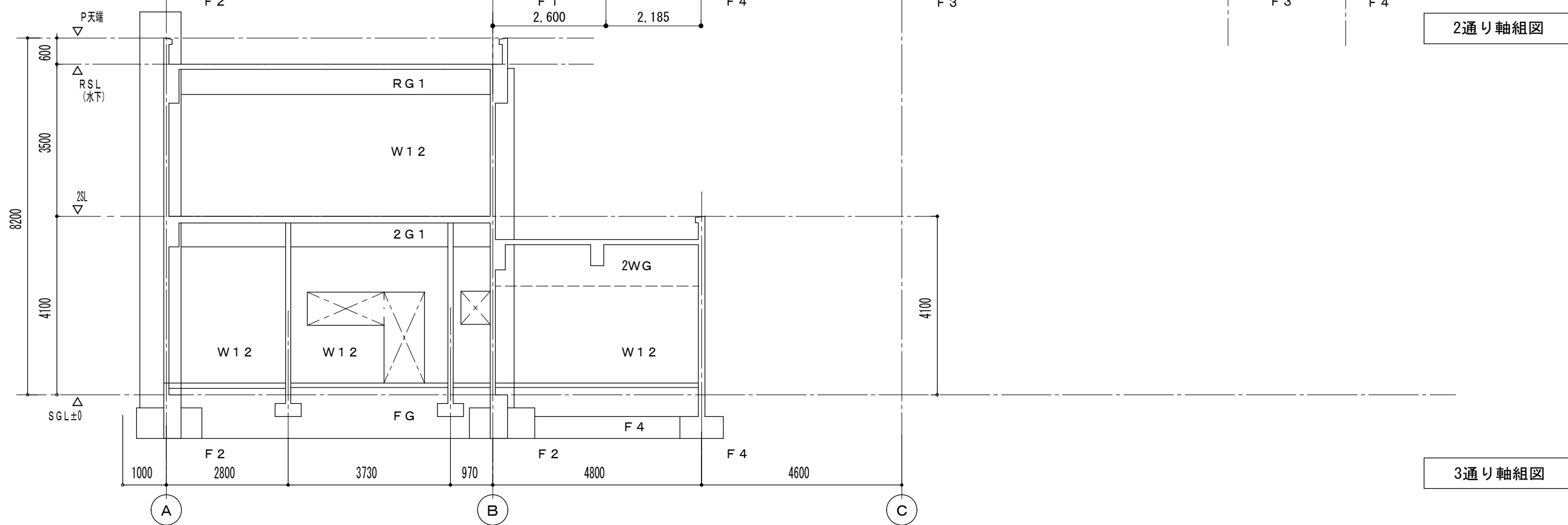
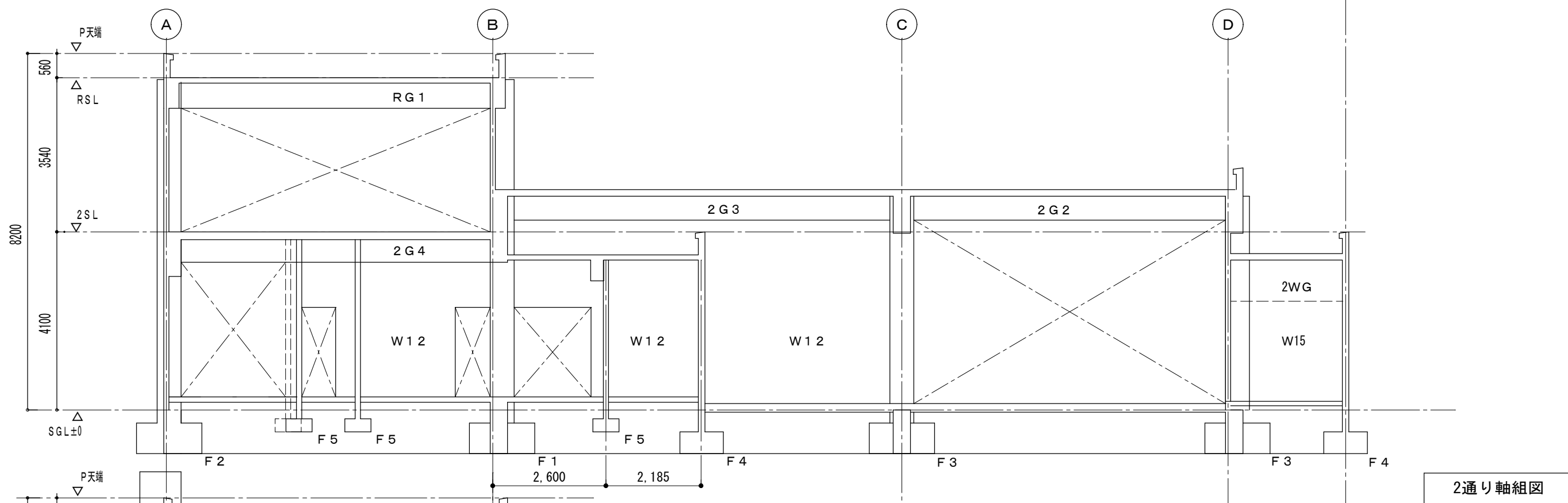
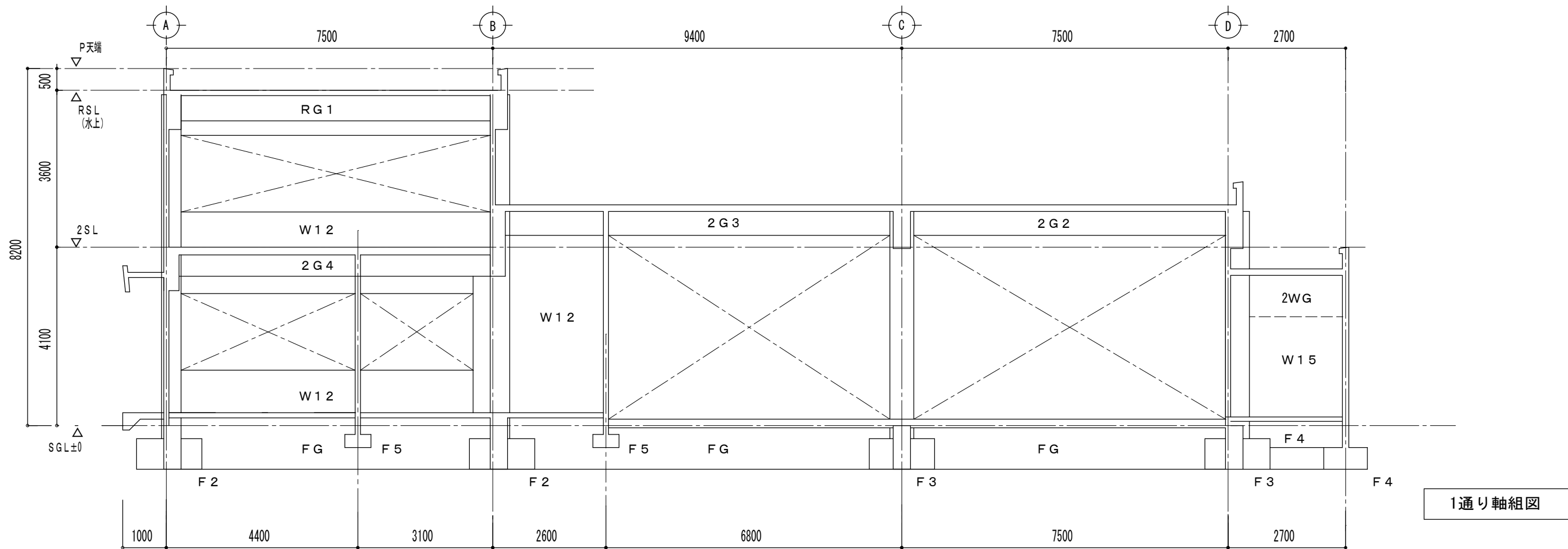
設計

承認

図面番号

A

18



参考図

宮本総合建築事務所

1級建築士 第167117号 宮本徳良

工事番号

整理番号

工事名

津市久居消防署南分署解体工事

図面名

軸組図 (2)

縮尺 (A2 原図)
1/100

年月日

検図

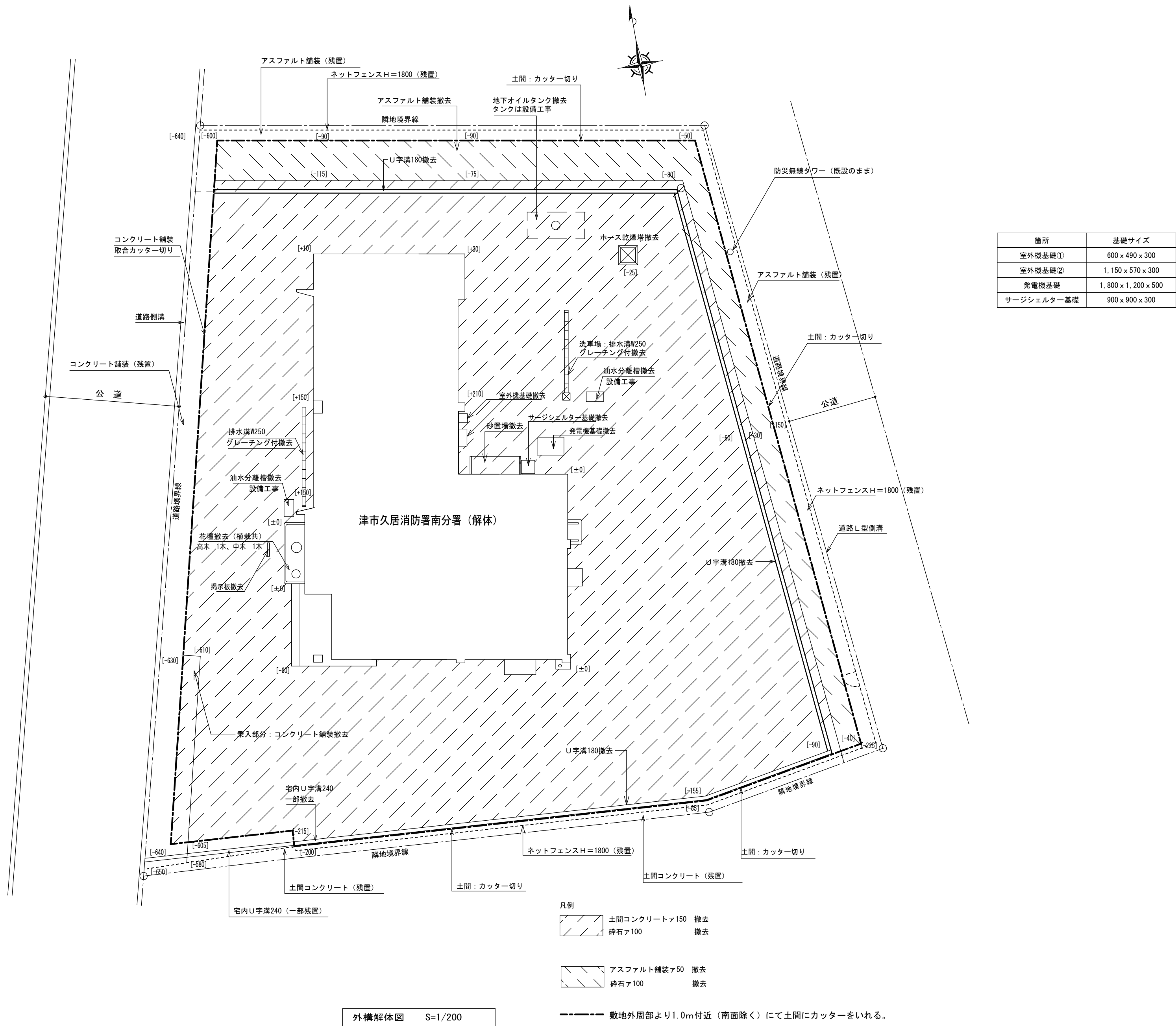
設計

承認

図面番号

A

19



箇所	基礎サイズ
室外機基礎①	600 x 490 x 300
室外機基礎②	1,150 x 570 x 300
発電機基礎	1,800 x 1,200 x 500
サージシールド基礎	900 x 900 x 300

参考図

宮本総合建築事務所
1級建築士 第167117号 宮本徳良

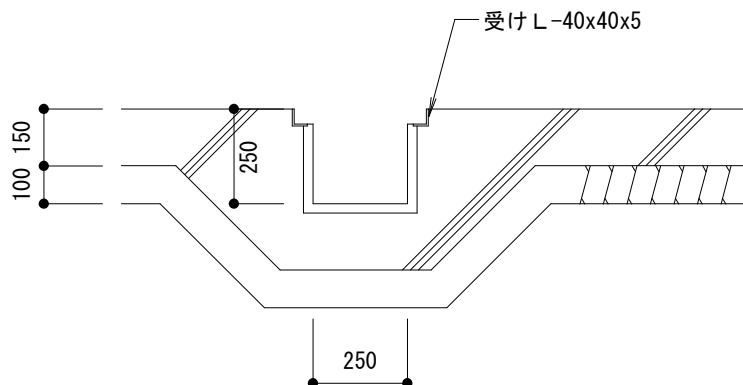
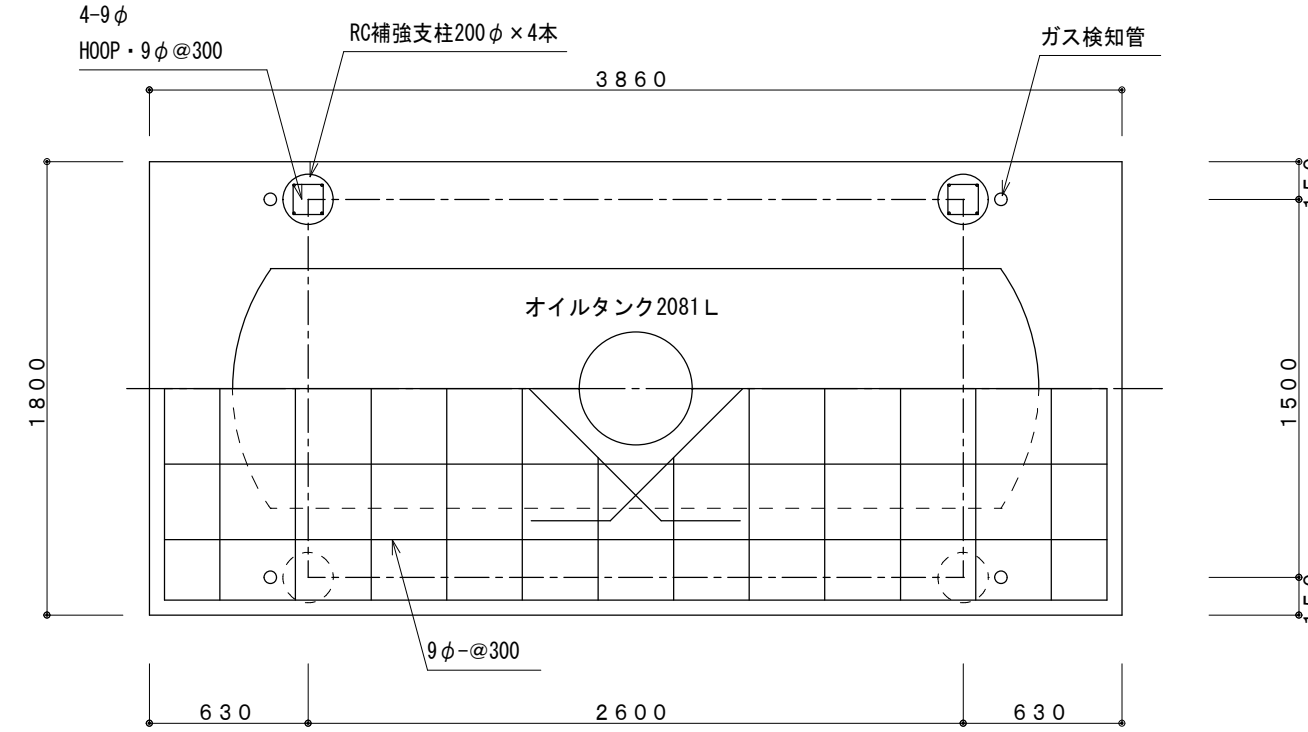
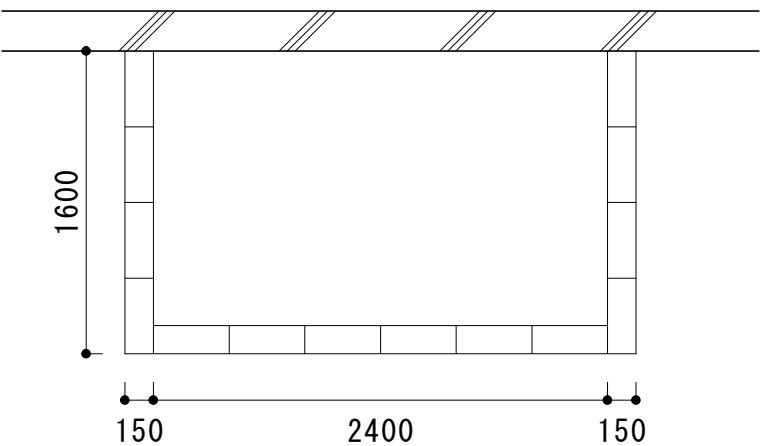
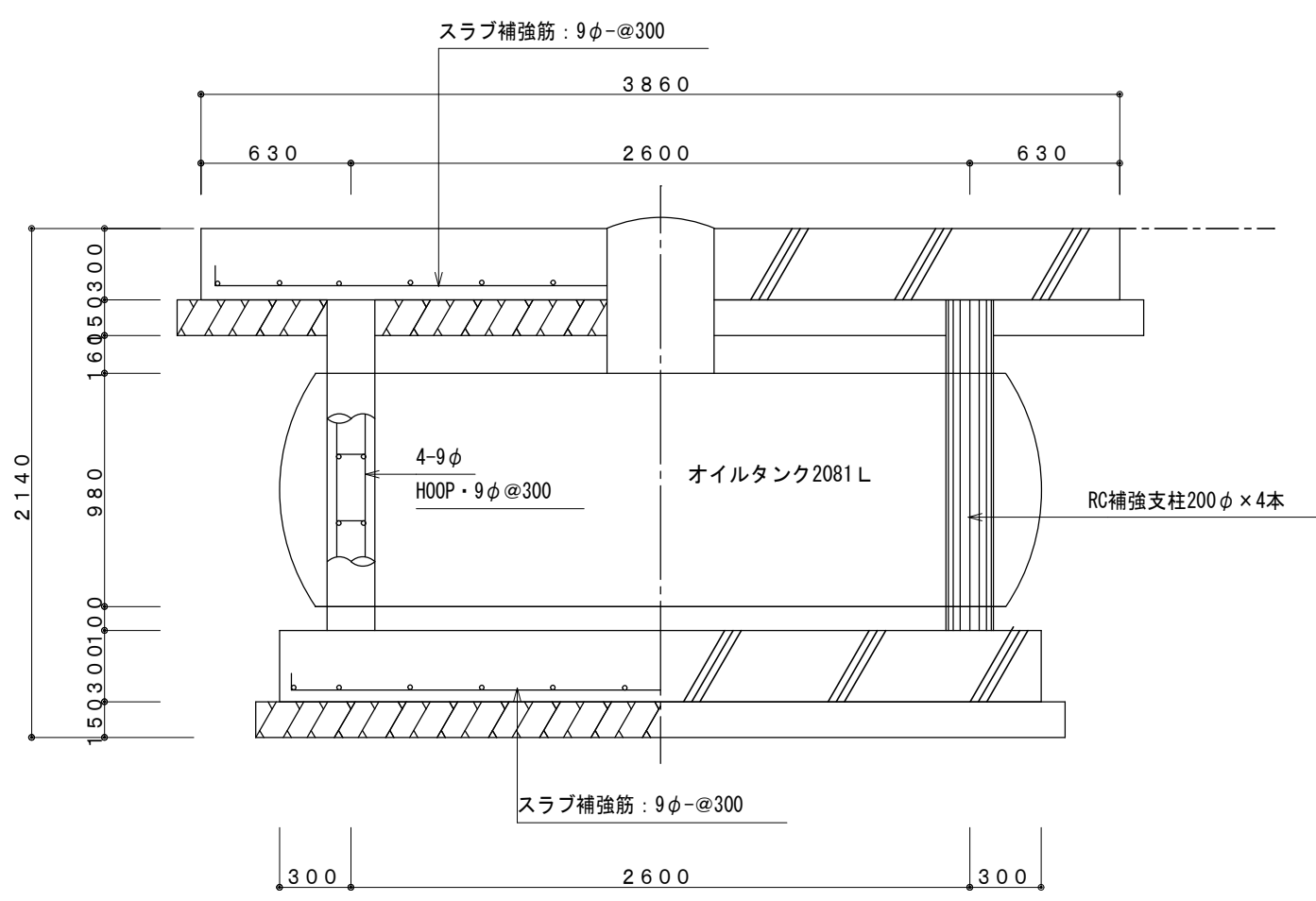
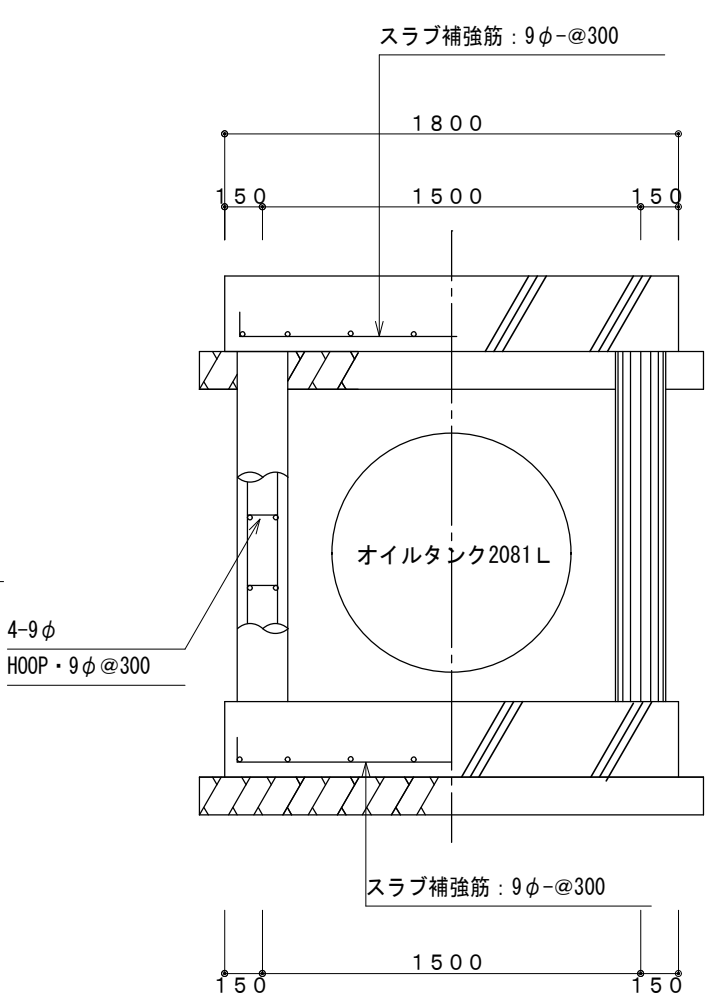
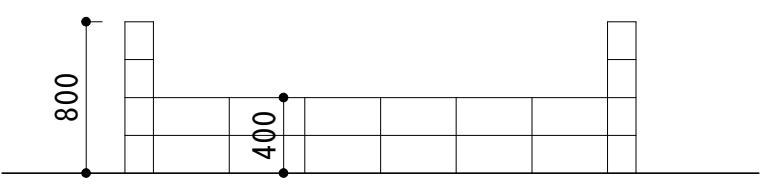
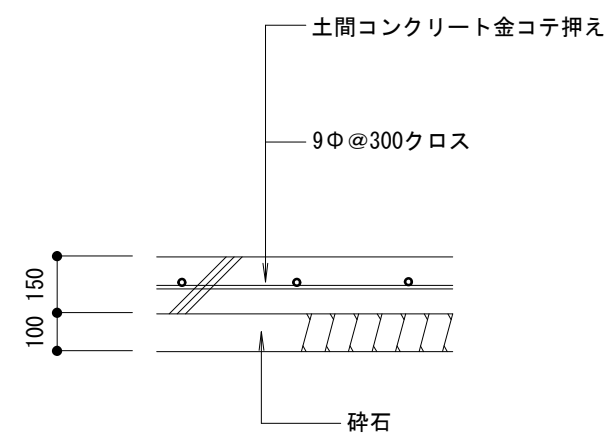
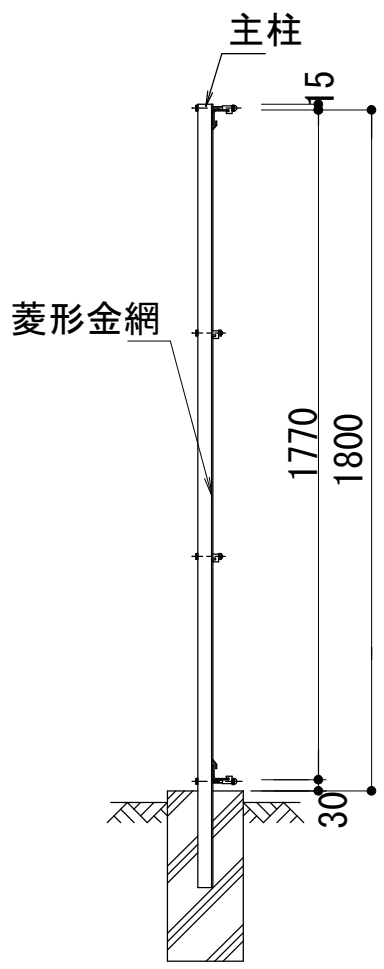
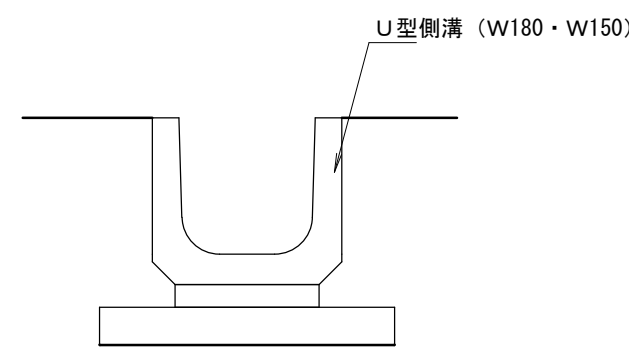
工事番号
整理番号

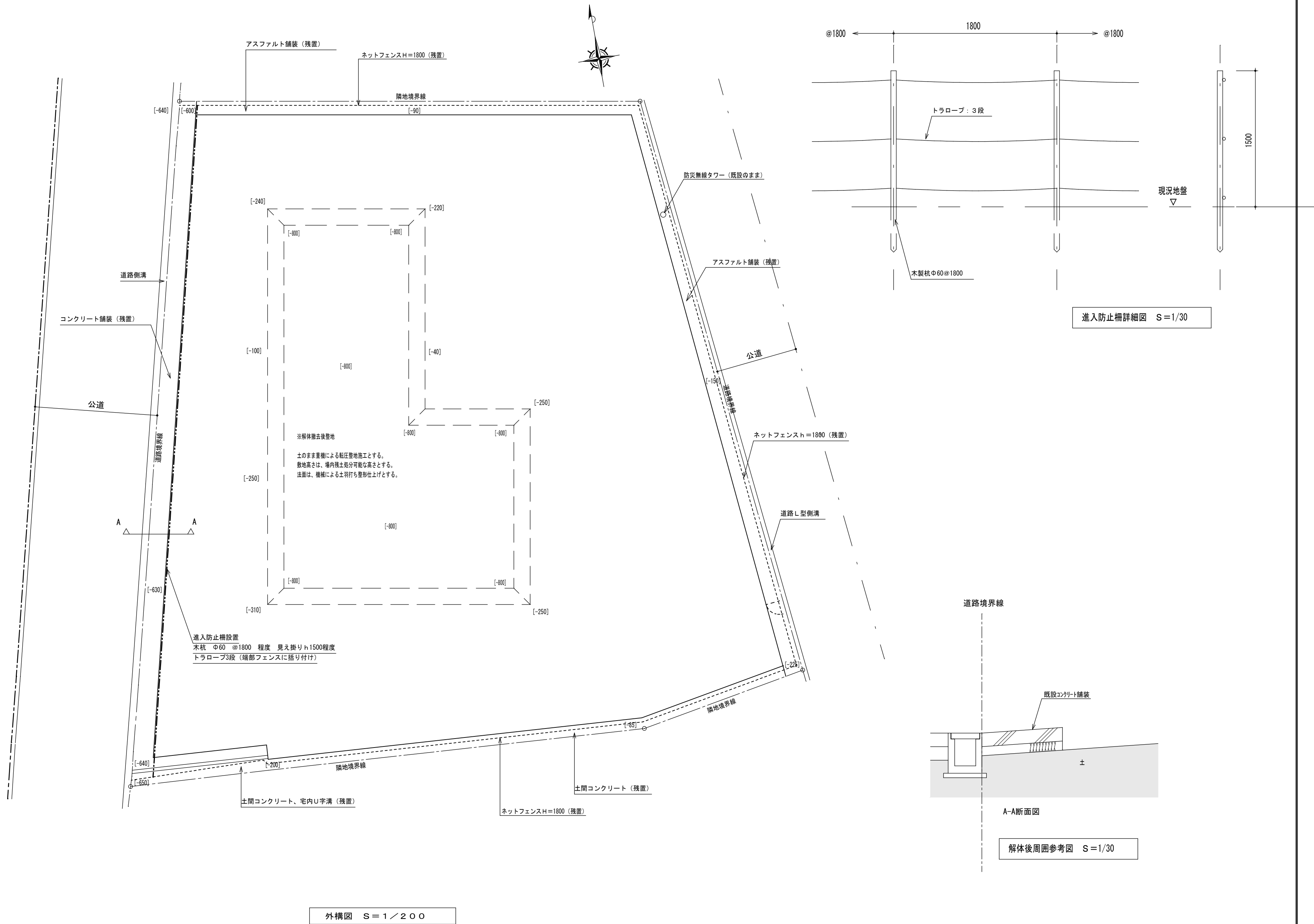
工事名
津市久居消防署南分署解体工事
図面名
外構解体図

縮尺(A2 原図)
1/200

年月日
検図
設計

承認
図面番号
A
20

洗車場：排水溝 詳細図 S = 1/20		地下オイルタンク 詳細図 S = 1/30				砂置場 詳細図 1/40											
		 ※オイルタンク本体の解体は設備図面 (E-02) 参照				 平面図											
駐車場：土間コンクリート 詳細図 S = 1/20		  危険物の種類：第四類 危険物の品名：第一・二・三 石油類				 立面図 C B 積み：390 x 190 x 150											
						外周ネットフェンス 詳細図 (残置) S = 1/20											
敷地内側溝 詳細図 S = 1/20																	
																	
参考図		宮本総合建築事務所 1級建築士 第167117号 宮本徳良		工事番号 整理番号		工事名 図面名		津市久居消防署南分署解体工事 外構詳細図		縮尺 (A2 原図) 1/200		年月日 検図 設計		承認		図面番号 A 2 1	



進入防止柵詳細図 S=1/30

A-A断面図
解体後周囲参考図 S=1/30

外構図 S=1/200

参考図

宮本総合建築事務所

1級建築士 第167117号 宮本徳良

工事番号

整理番号

工事名

図面名

津市久居消防署南分署解体工事

解体後外構図

縮尺(A2 原図)
1/30・1/200

年月日

検図

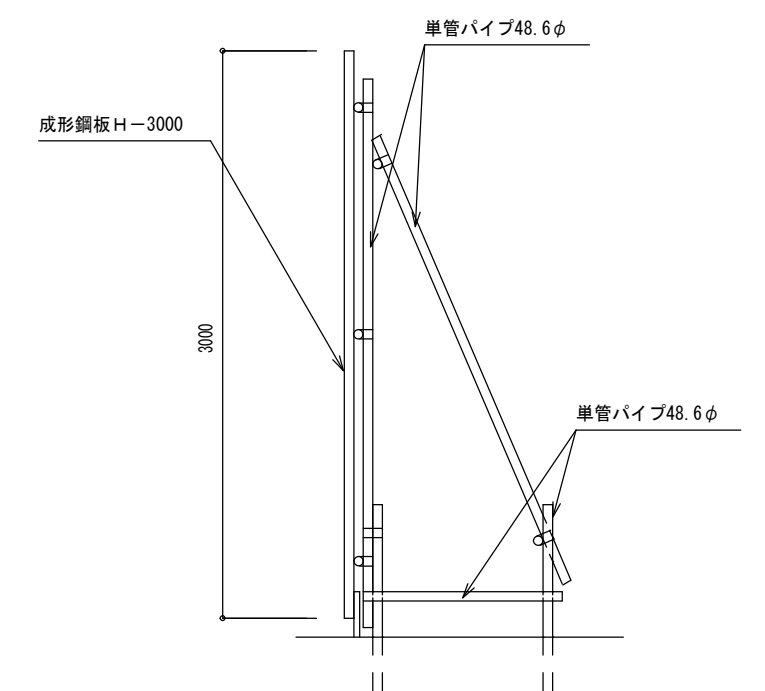
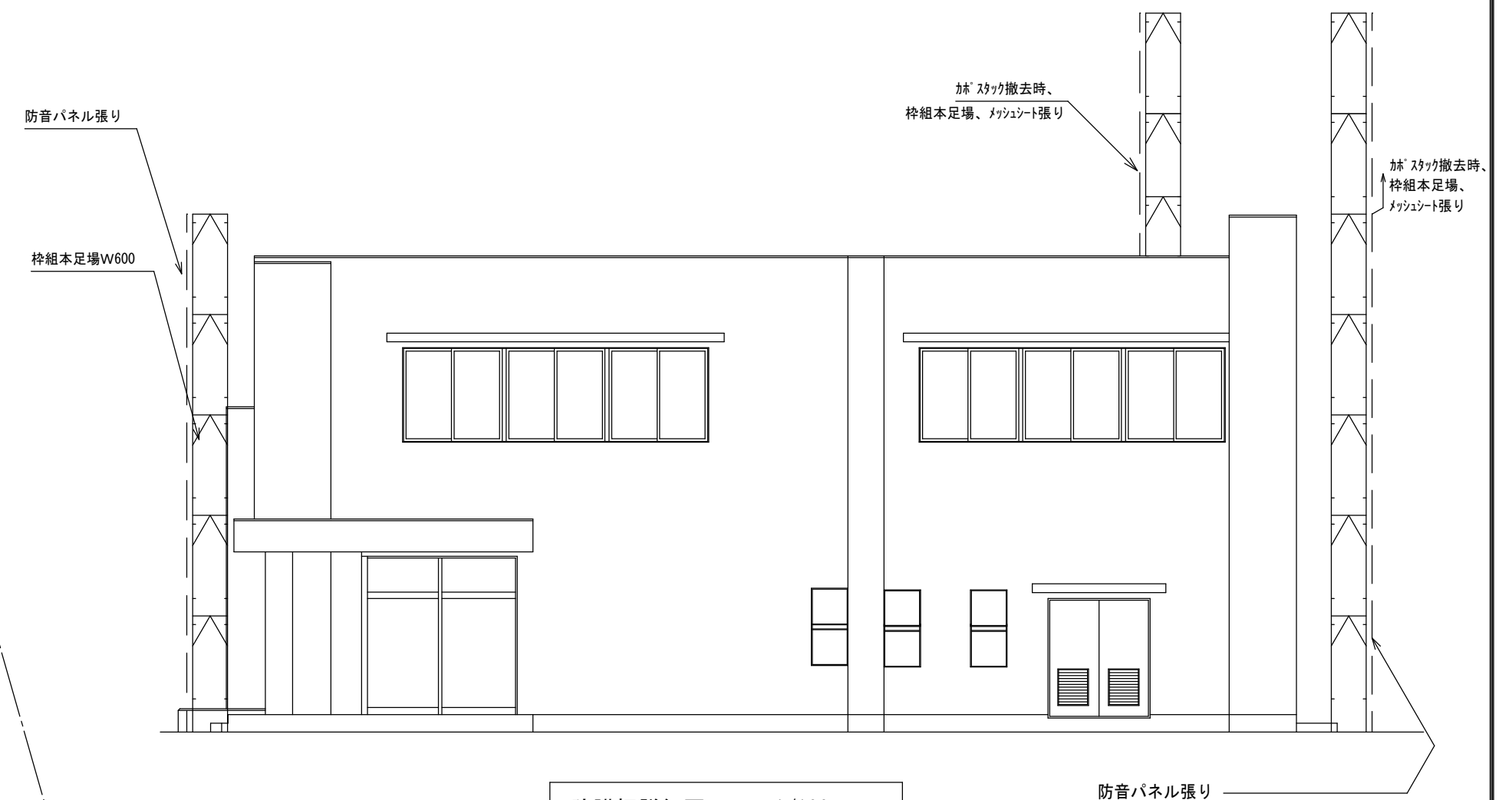
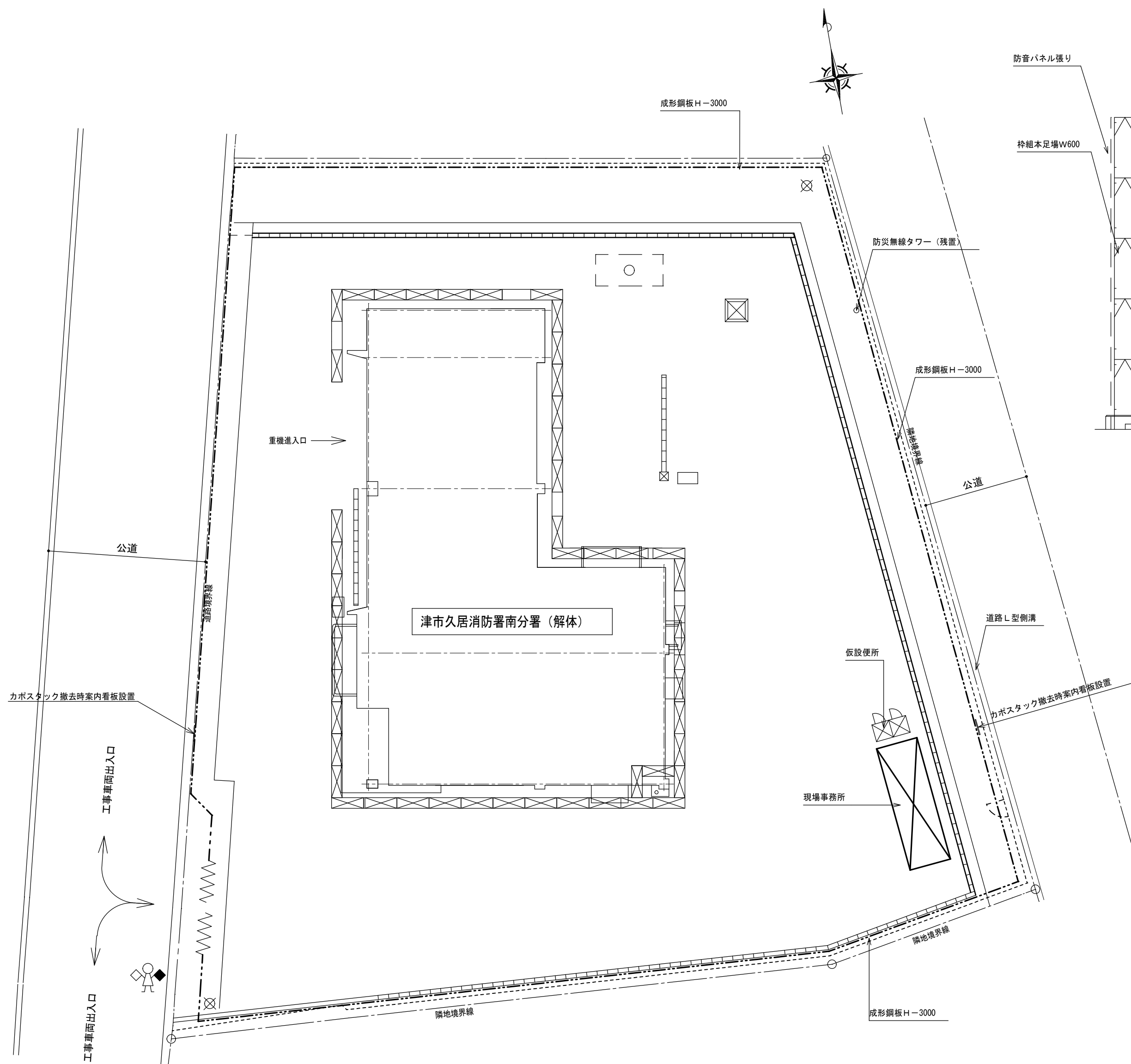
設計

承認

図面番号

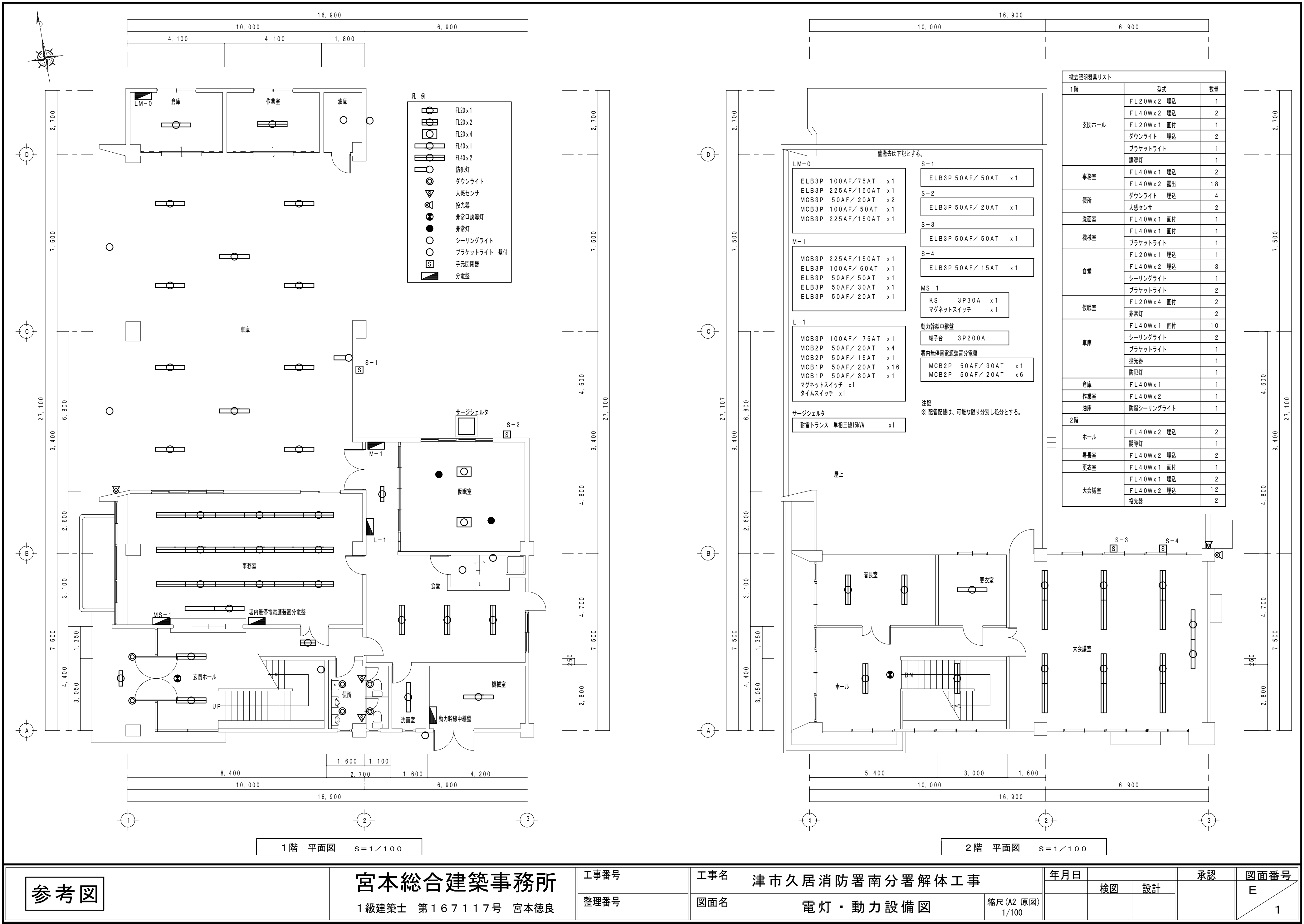
A

22



- 凡例
-  : 手摺先行枠組本足場（解体用）W600
アルミ製防音パネル共
※出隅は、防音シートとする。
-  : 成形鋼板 H-3000
-  : 現場事務所 (2.4m×7.2m・ユニットハウス)
-  : 仮設便所（汲み取り式）
-  : 交通誘導員（本工事施工中は常時配備すること）
-  : パネルゲート（5.4W×4.5H）銅製複層板
-  : 騒音計設置箇所（本工事施工中は常時設置すること）

参考図	宮本総合建築事務所 1級建築士 第167117号 宮本徳良	工事番号	工事名	津市久居消防署南分署解体工事		年月日			承認	図面番号
		整理番号	図面名	仮設計画図		縮尺(A2 原図) 1/200		検図	設計	A 2 3



参考図

宮本総合建築事務所
1級建築士 第167117号 宮本徳良

工事番号
整理番号

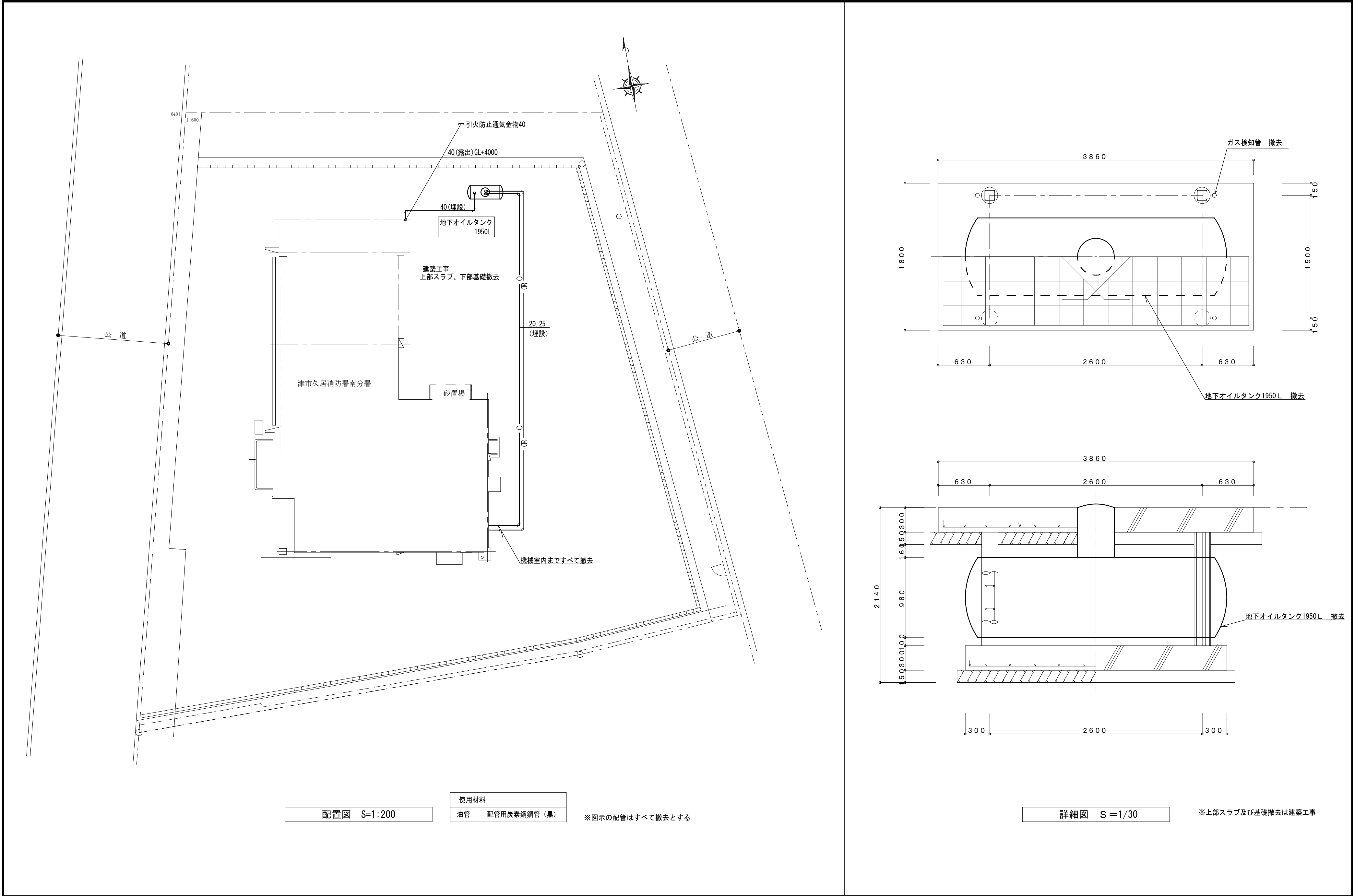
工事名 津市久居消防署南分署解体工事
図面名 電灯・動力設備図

縮尺(A2原図)
1/100

年月日
検図
設計

承認

図面番号
E
1



配置図 S=1:200

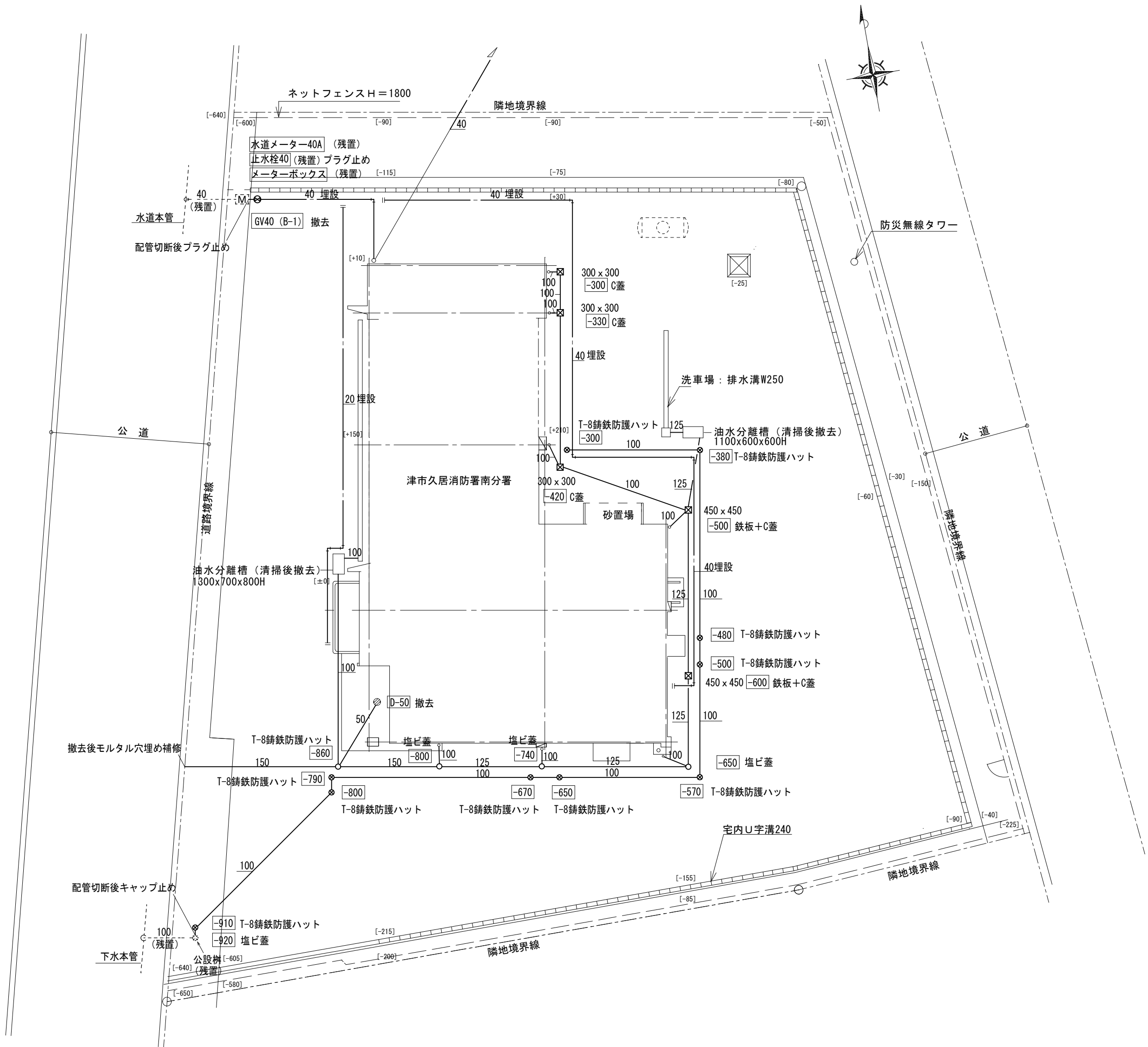
使用材料	
油管	配管用炭素鋼鋼管 (黒)

※図示の配管はすべて撤去とする

詳細図 S=1/30

※上部スラブ及び基礎撤去は建築工事

参考図	宮本総合建築事務所 1級建築士 第167117号 宮本徳良	工事番号	工事名	津市久居消防署南分署解体工事	年月日			承認	図面番号
		整理番号	図面名	地下タンク設備 撤去 配置図 詳細図	縮尺 (A2 原図) 1/200、1/30	検図	設計	E 2	



撤去工事区分

・機器及び配管の撤去は、機械設備工事とし、建物に付随する配管の撤去は建築解体工事とする。

・図面の記載なき機器・露出配管の撤去も、機械設備工事として処理の事。

配置図 S=1:200

- ⊗ 汚水樹 200φ (小口径塩ビインバート樹)
- 雨水樹 200φ (小口径塩ビ溜め樹)
- ⊠ 雨水樹 図示の大きさ (RC団樹)
- [-300] □ 内の数値は、設計GLからの管底深さ

使用材料		
給水管	一般	塩ビライニング鋼管 (SGP-VA)
給水管	埋設	内外面塩ビライニング鋼管 (SGP-VD)
屋外排水管		硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)

参考図

宮本総合建築事務所

1級建築士 第167117号 宮本徳良

工事番号

整理番号

工事名

津市久居消防署南分署解体工事

図面名

衛生設備 配置図

縮尺(A2 原図)
1/200

年月日

検図

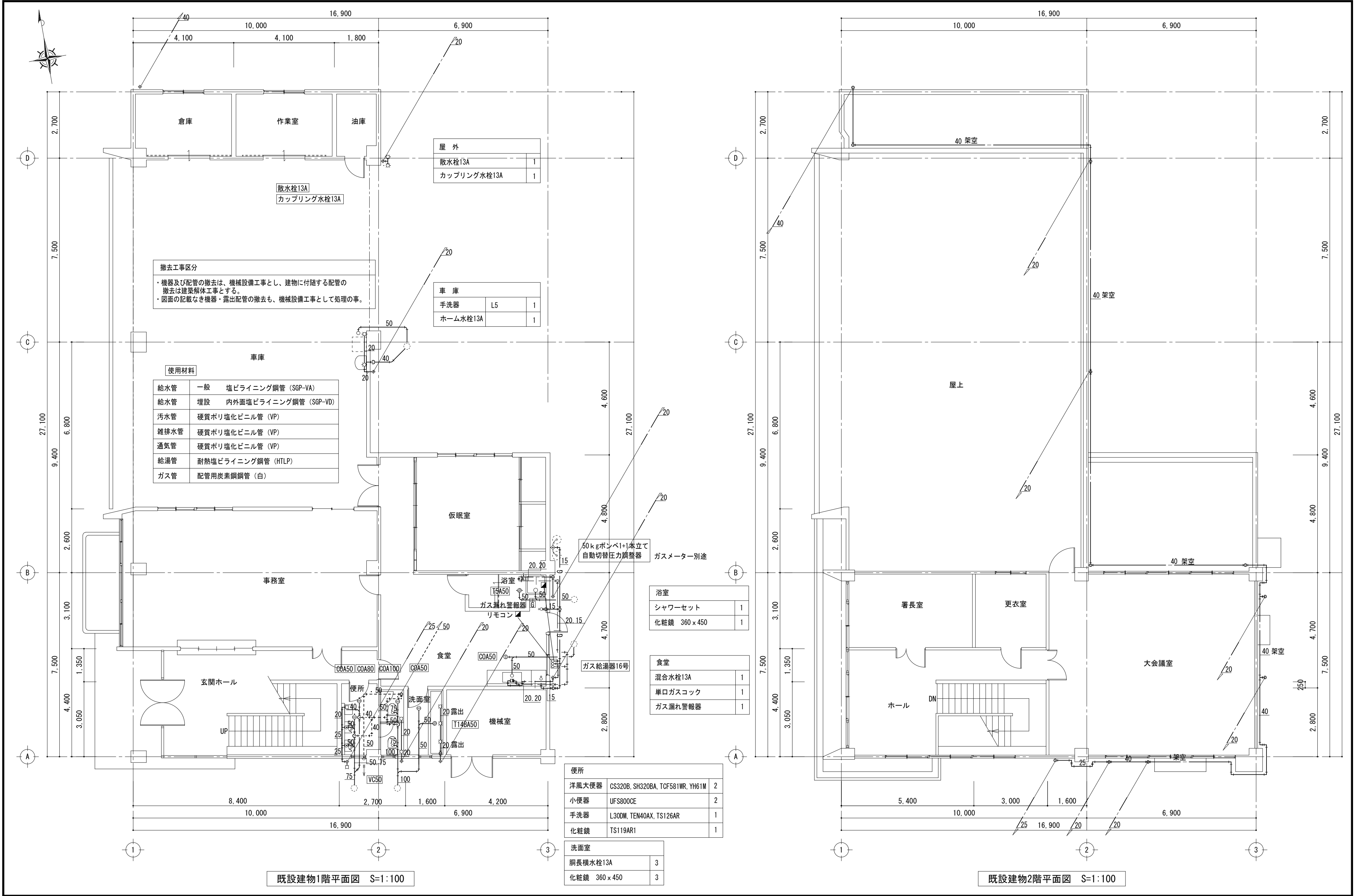
設計

承認

図面番号

M

1



参考図

宮本総合建築事務所
1級建築士 第167117号 宮本徳良

工事番号
整理番号

工事名 津市久居消防署南分署解体工事
図面名 衛生設備 1, 2階平面図

縮尺(A2 原図)
1/100

年月日

検図

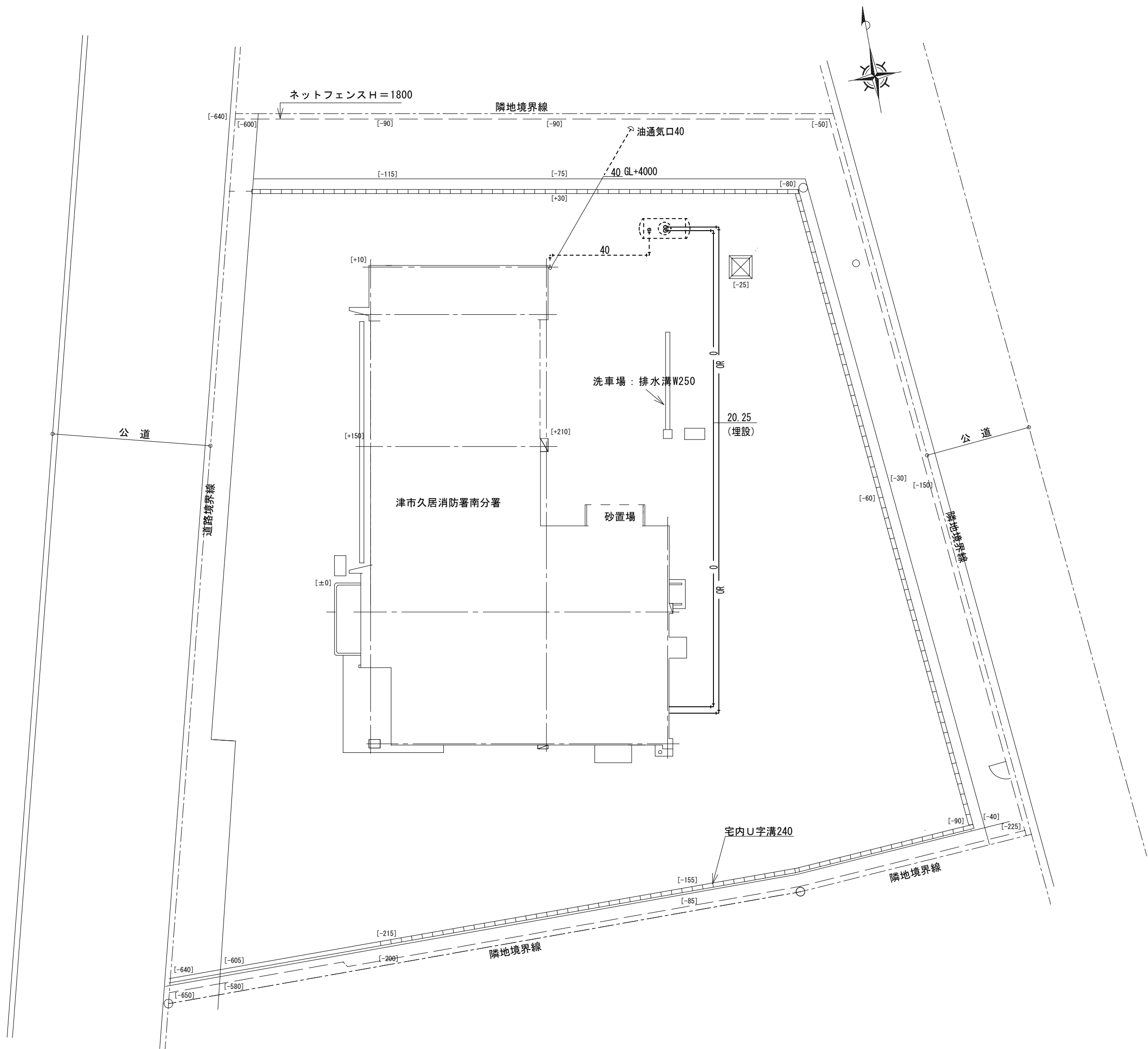
設計

承認

図面番号

M

2



撤去工事区分

- ・機器及び配管の撤去は、機械設備工事とし、建物に付随する配管の撤去は建築解体工事とする。
- ・図面の記載なき機器・露出配管の撤去も、機械設備工事として処理の事。

配置図 S=1:200

使用材料

油管 配管用炭素鋼鋼管（黒）

参考図

宮本総合建築事務所

1級建築士 第167117号 宮本徳良

工事番号

整理番号

工事名 津市久居消防署南分署解体工事

図面名 空調設備 配置図

縮尺(A2 原図)
1/200

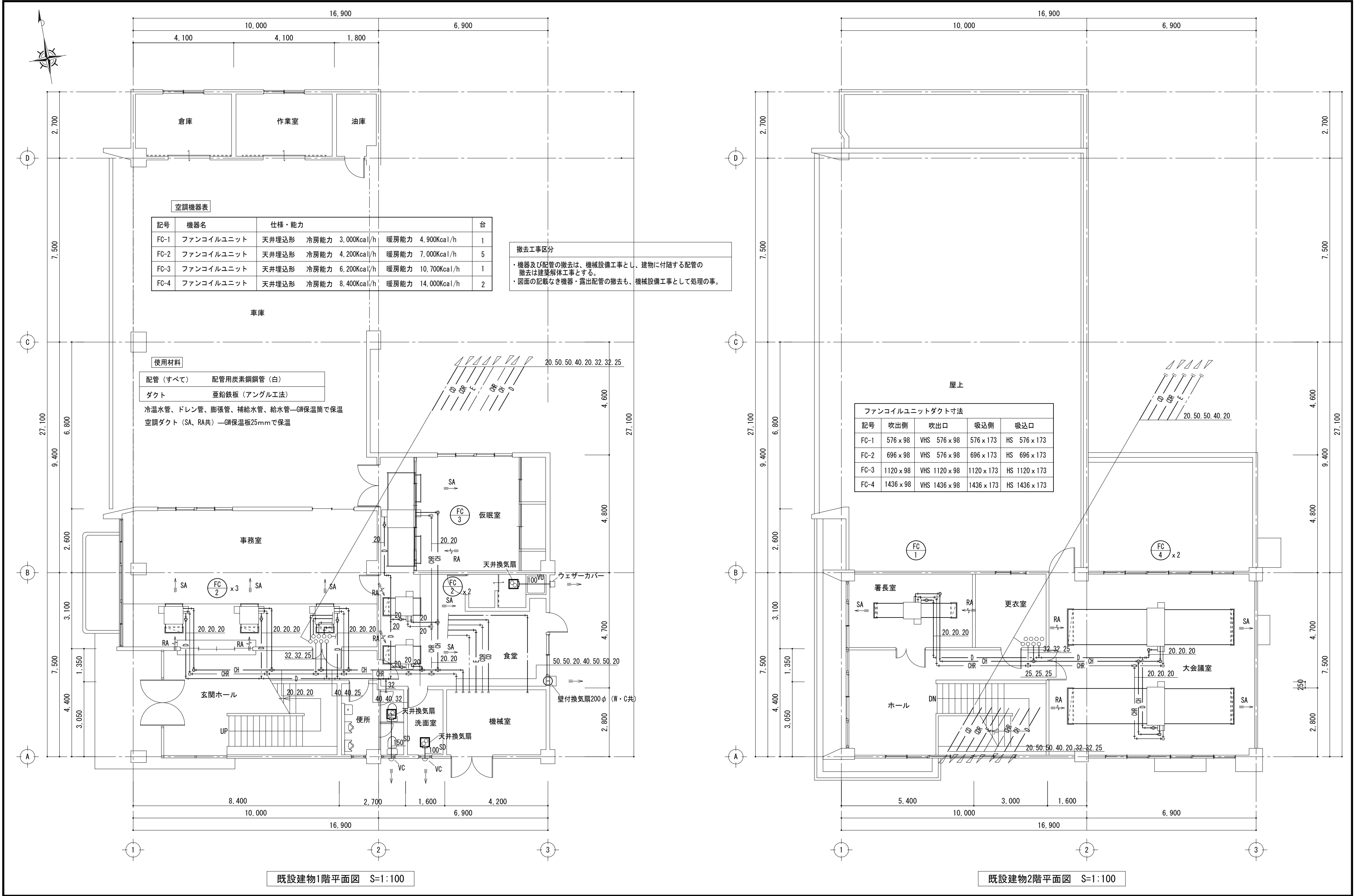
年月日

検図 設計

承認

図面番号

M
3



空調機器表

記号	機器名	仕様・能力	合
FC-1	ファンコイルユニット	天井埋込形 冷房能力 3,000Kcal/h 暖房能力 4,900Kcal/h	1
FC-2	ファンコイルユニット	天井埋込形 冷房能力 4,200Kcal/h 暖房能力 7,000Kcal/h	5
FC-3	ファンコイルユニット	天井埋込形 冷房能力 6,200Kcal/h 暖房能力 10,700Kcal/h	1
FC-4	ファンコイルユニット	天井埋込形 冷房能力 8,400Kcal/h 暖房能力 14,000Kcal/h	2

撤去工事区分

- ・機器及び配管の撤去は、機械設備工事とし、建物に付随する配管の撤去は建築解体工事とする。
- ・図面の記載なき機器・露出配管の撤去も、機械設備工事として処理の事。

使用材料

配管（すべて）	配管用炭素鋼鋼管（白）
---------	-------------

ダクト	亜鉛鉄板（アングル工法）
-----	--------------

冷温水管、ドレン管、膨張管、補給水管、給水管—GW保温筒で保温
空調ダクト（SA、RA共）—GW保温板25mmで保温

ファンコイルユニットダクト寸法				
記号	吹出側	吹出口	吸込側	吸込口
FC-1	576 × 98	VHS 576 × 98	576 × 173	HS 576 × 173
FC-2	696 × 98	VHS 576 × 98	696 × 173	HS 696 × 173
FC-3	1120 × 98	VHS 1120 × 98	1120 × 173	HS 1120 × 173
FC-4	1436 × 98	VHS 1436 × 98	1436 × 173	HS 1436 × 173

既設建物1階平面図 S=1:100

既設建物2階平面図 S=1:100

参考図

宮本総合建築事務所

1級建築士 第167117号 宮本徳良

工事番号

整理番号

工事名

図面名

津市久居消防署南分署解体工事

空調換気設備 1,2階平面図

縮尺(A2 原図)
1/100

年月日

検図

設計

承認

図面番号

M

4

